

平成 26 年度

指定管理者制度導入施設における管理運営等に係る
第三者評価業務

報告書

平成 27 年 3 月

NPO 法人政策 21・株式会社邑計画事務所共同体

目 次

第1章 業務の概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 背景.....	1
3. 留意点.....	1
4. 業務実施方針.....	2
5. 評価の視点.....	4
6. 評価の方法.....	6
7. 業務履行における個人情報保護に関すること.....	6
8. 評価の対象.....	7
9. 業務スケジュール.....	9
10. 業務の経過.....	10
第2章 調査結果の概要.....	11
1. 総括評価.....	11
2. 施設の用途別傾向.....	14
3. 施設別評価の結果.....	16
第3章 今後に向けた課題.....	71
1. 本年度調査の特徴.....	71
2. 人口減少時代の新たな視点.....	73
資料編.....	74
【文書1】担当課向け文書案.....	75
【文書2】指定管理者向け文書案.....	76
【文書3】訪問先への文書案.....	77
【別紙1】指定管理者自己点検等に関する調査票.....	78
【別紙2】担当課評価シート.....	79
【別紙3】施設別評価シート.....	81

第1章 業務の概要

1. 目的

本業務は、指定管理者制度を導入した施設を対象として、公正かつ客観的視点による第三者評価を実施し、公の施設としての管理水準の向上と提供する市民サービスの向上を図ることを目的とする。

2. 背景

指定管理者制度は、「多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ること」を目的として、平成15年の地方自治法改正により創設された制度である。

しかし、指定管理者制度に関するとらえ方は、①コスト削減とサービス向上（自治体）、②ビジネスチャンスとしての「官製市場」への新規参入（民間事業者）、③規制緩和による「官製市場」の開放（財界）、④規制緩和と地方行政改革の推進（中央政府）など、立場の違いによって、期待する側面が異なったものとなっている傾向がみられる。

このような状況の中で、指定管理者の制度上、自治体の裁量権と説明責任の観点から、評価が必要とされている。すなわち、この制度では、自治体の裁量が拡大しており、市は、議会や住民に対して、説明責任があるため、モニタリング・評価を行う事が求められているのである。このため、①費用対効果、②現場での実行性、③認識の共有、④過度の関与防止、⑤仕組みの柔軟な修正などの点で、簡素な仕組みが望ましいとされている。

なお、本調査業務は、平成19年度、平成20年度、平成23年度、平成24年度、平成25年度に実施された評価に続くものであり、それらの評価手法など基本的な枠組みは同じものを用いて実施した。

3. 留意点

指定管理者制度導入施設における管理運営等に係る第三者評価業務は、指定管理者が適切な管理運営を行い、サービスの維持向上をはかる上で有効な手段であり、また、指定管理者制度を有効かつ持続可能なものに導く役割を担うものである。

また、以下の3つの方向性を念頭において、今後のより良い運用に寄与することをめざす。

- ① それぞれの施設の特徴の可能性を活かして、利用者満足の上昇を図る。
- ② 制度運用面の広がりや柔軟性によって、持続可能な運営を指定管理者に促す。
- ③ 現状と課題を整理することで、より良い運用のあり方を盛岡市に示す。

さらに、管理運営に当たっての目標の設定に関して、とくにスポーツ施設や生涯学習施設については、「目標値」の設定は困難な面がある。このため、「目標値」が明確でない場合は、指定管理者から、施設の設置目的や役割、地域特性を背景に「目標」とされている点を把握し、それらを意識した運営の実態について、明らかにするものとする。

各施設において、第三者が評価者として評価を行う際の視点を、①公正かつ客観的視点（第三者の立場で実態を俯瞰しつつ、両者間のコミュニケーションを補足）、②利用者側の視点（満足度やサービス向上の観点から、冷静な利用者の立場で実態を把握）、③協働の視点（市・指定管理者・評価者、できる限りフラットな関係での調査実施）とし、これらを基本とした。また、指定管理者制度の運用による『利用者満足やサービス面の向上』をめざし、各施設の設置目的・役割および特徴をふまえ、優れた取り組みを評価し、改善を要する点については、できる限り取り組み方向を提示することをめざすものとした。

4. 業務実施方針

本調査における業務の概要は、以下の通りである。

(1) 指定管理者自己点検

—指定管理者自身が行っている自己点検の実施状況を把握する調査

- ・自己点検の状況について、「指定管理者自己点検等に関する調査票」による調査を行う。
- ・自己点検の実施状況について、(5) 指定管理者ヒアリングの際に内容を確認する。

(2) 利用者満足度の把握

—指定管理者が施設利用者の満足度をどのように把握しているか明らかにする調査

- ・各施設における利用者の満足度の把握状況と、その結果を運営にどのように反映しているか、これらを評価の視点として設定して、ヒアリング調査を行う。

(3) 市担当課事前調査

—第三者評価の視点に沿って担当課の指定管理者関連業務を事前点検してもらう調査

- ・指定管理者に関する市担当課の視点からの評価情報を収集するために、各施設の担当課を対象に実施する。
- ・「担当課評価シート」に示す7つの視点(項目)について、3つの選択肢「はい・いいえ・どちらともいえない」を選択していただく。
- ・同シート回収後、各担当課を対象に、管理業務における問題点や課題の確認などに関するヒアリング調査を実施する。

(4) 指定管理者関連書類調査

—市担当課の有する指定管理者関連書類の内容を確認する調査

- ・事業計画書・自主事業計画書・収支予算書・協定書・事業報告書・収支決算書・自己評価表・設置者評価表などの提供を受けて、内容の確認を行う。

(5) 指定管理者ヒアリング

—それぞれの指定管理者に対する訪問ヒアリング調査

- ・原則として調査員2名によるチームを編成し、全施設を対象に実施する。
- ・「指定管理者ヒアリング調査の手引き」のように、各評価項目のチェックポイントを設定し評価基準を明確なものとする。
- ・同手引きに基づき、個別評価項目について、各施設を訪問し、施設管理責任者および実務担当者等に対して1施設当たり2～3時間程度の調査を行う。

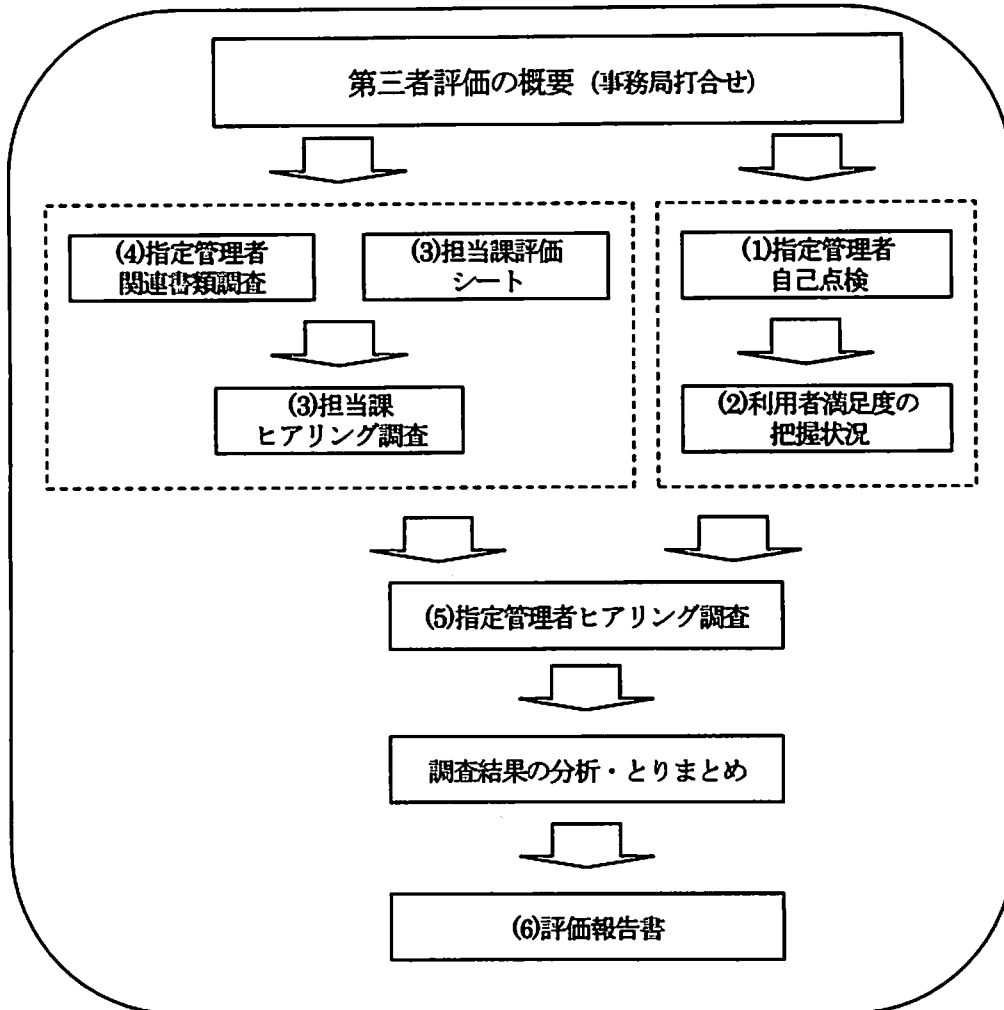
(6) 評価報告書

—調査結果に基づく報告書のとりまとめ

- ・「施設別評価シート」の形で、全施設について評価結果をまとめる。
- ・評価結果および調査全体を概観して、今後のより良い運用に寄与できる方向性について、検討して提示する。

(7) 業務のフロー

本調査業務のフローは、以下に示すとおりである。



図一業務のフロー

5. 評価の視点

以下、各項目における評価の視点を示す。

実際のチェック方法及び評価の目安等については、「指定管理者ヒアリング調査の手引き」に沿った内容とする。

(1) 施設の設置目的や役割について

1-1	基本方針は、施設の条例等の設置目的に合致しているか。
1-2	基本方針を全職員に周知、理解させているか。

(2) 指定管理者制度を導入している施設の管理体制について

2-1	事業計画どおりに、業務が執行されているか。執行されていない場合、代替の手段はとられているか。事業内容に創意工夫がみられるか。
2-2	仕様書に基づいた職員配置となっているか。配置されていない場合の理由、代替の手段はとられているか。自主事業の実施体制等に問題がないか。
2-3	施設の設置目的や課題・問題に対応した適切な研修を行っているか。専門的知識・技能を向上させる研修体制となっているか。
2-4	火災や地震など緊急時や防災対策の標準書（手引き、マニュアル）等を作成し、対応方法について指導しているか。

(3) 施設・整備の維持管理について

3-1	指定管理者の管理に起因する事故は発生していないか。
3-2	補修・修繕、日常的な清掃などにより、機能・美観が良好な状態に保たれているか。
3-3	施設設備の維持・管理に関して、利用者や近隣住民から苦情はあったか。それに対して適切に対処したか。

(4) 経営状況の適正化について

4-1	指定管理者制度導入前と比較して、経費節減効果があったか。ない場合、どのような理由、事情によるか。
4-2	業務を再委託する際の手続は適切か。
4-3	経費の縮減及び効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
4-4	会計処理に誤りや不正が起こらないような措置がとられているか。

(5) サービスの向上について（自主事業を含む）

5-1	利用申込の受付手順は適正か。苦情はないか。
5-2	同一の団体が同一の曜日・時間等を利用していないか。利用している場合、その理由を職員は明確に答えられるか。
5-3	施設の利便性向上を図るための情報発信の方策は有効なものか。
5-4	自主事業は、施設の設置目的・ミッションに合致し、内容は、利用者増または利用者の利便向上に寄与しているか。
5-5	利用者の要望・意見・苦情を把握し、改善に結びつける手順が決められ、職員に周知され、運用されているか。
5-6	施設の運営に利用者が関与することについての何らかの方策がとられているか。

(6) 目標値の設定と達成度合いについて

6-1	目標の設定は有効かつ現実的なものか
6-2	管理運営全般の定期的評価、個々の自主事業についての目標設定と評価、改善が行われているか。

(7) 個人情報保護における個人情報の適正管理について

7-1	個人情報保護に関する取扱ルール、マニュアル作成など、書類や電子媒体の管理に職員の意識づけがされているか。
7-2	個人情報取扱いに関し、市民・利用者から苦情や指摘を受けていないか。受けている場合、どのように対処したか。

(8) 協働の視点について

8-1	協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれている
8-2	定期報告書は、期日までに提出されているか。またその内容は適切か。
8-3	担当課との間で、施設に関する課題・問題点の共有、維持・管理に関しての担当課からの指導・指示が行われているか。
8-4	業務執行に関して担当課から指導・指示を受けたり、担当課との協働により事業を実施したり、課題を解決した実績があるか。
8-5	担当課が実施した設置者評価の結果を、施設の管理運営の改善につなげているか

(9) 利用者アンケートについて

9-1	利用者満足の把握に取り組んでいるか。その結果を運営に反映させているか。
-----	-------------------------------------

(10) そのほか

- ・特記事項、現場の印象など、上記評価項目に記入しきれない内容についてもシートに記す。

6. 評価の方法

評点の手順及び基準は、以下に示すとおり。

詳細については、「指定管理者ヒアリング調査の手引き」を参照のこと。

(1) 評価の基準

指定管理者ヒアリング調査によって、項目ごとの個別評価を行い、結果を5段階で示すものとする。

◎評価の基準

- S : 特に優れている業務を行っている
- AA : 仕様書をやや超えた業務を行っている
- A : 仕様書通りに業務が行われている
- B : 仕様書をやや満たさない業務を行っている
- C : 著しく仕様書に満たない業務を行っている

(2) 特記事項の抽出

指定管理者ヒアリング調査や指定管理者関連書類調査の結果より、評価に影響を及ぼすとみられる事項を特記事項として抽出する。

(3) 総合評価の実施

各調査結果及び特記事項を整理し、視点別評価をふまえて、全体としての総合評価をシートに整理する。

7. 業務履行における個人情報保護に関すること

本業務においては、原則として個人情報は取り扱わない予定である。個人情報になる可能性があるものについては、個人情報保護法の取扱いに基づき、施錠保管し、単独での取扱いを禁止する。また、コピー時にはその部分を付箋紙等で隠してコピーする等、細心の注意を払う。

また、業務で知り得た情報に関し、業務履行以外では口外しないものとし、提供していただいた書類等は事業終了後、1週間以内に返却するとともに、その他不要書類については、直ちにシュレッダーにて廃棄するものとする。

8. 評価の対象

本業務における評価対象は、下表の54施設である。

表一平成26年度第三者評価実施対象施設

NO.	施設名	指定管理者	所管課等	指定期間
1	仙北地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団	市民協働推進課	H26. 4. 1 ～ H31. 3. 31
2	中野地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
3	みたけ地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
4	太田地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
5	土淵地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
6	つなぎ地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
7	青山地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団	市民協働推進課 子ども未来課 高齢者支援室	
8	青山老人福祉センター			
9	厨川地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
10	厨川老人福祉センター			
11	厨川児童センター			
12	松園地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
13	松園老人福祉センター			
14	松園児童センター			
15	加賀野地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
16	加賀野老人福祉センター			
17	加賀野児童センター			
18	本宮地区活動センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
19	本宮老人福祉センター			
20	本宮児童センター			
21	杜陵老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団	高齢者支援室	
22	西厨川老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団		
23	北厨川老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉事業団	子ども未来課 高齢者支援室	
24	北厨川児童センター			

NO.	施設名	指定管理者	所管課等	指定期間
25	仁王老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団	子ども未来課 高齢者支援室	H26. 4. 1 ～ H31. 3. 31
26	仁王児童センター			
27	山王老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
28	山王児童センター			
29	桜城老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
30	桜城児童センター			
31	山岸老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
32	山岸児童センター			
33	上田老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
34	上田児童センター			
35	大慈寺老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
36	大慈寺児童センター			
37	下太田老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
38	下太田児童センター			
39	緑が丘老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
40	緑が丘児童センター			
41	上米内老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
42	上米内児童センター			
43	世代交流センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
44	見前児童センター			
45	津志田児童センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団	子ども未来課	
46	永井児童センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		
47	巻堀児童館	(社福)盛岡市社会福祉 協議会		H25. 4. 1 ～ H30. 3. 31
48	日戸児童館	(社福)盛岡市社会福祉 協議会		
49	好摩児童館	(社福)盛岡市社会福祉 協議会		
50	渋民児童館	(社福)盛岡市社会福祉 協議会		
51	乙部老人福祉センター	(社福)盛岡市社会福祉 事業団	スポーツ推進 課 高齢者支援室	H26. 4. 1 ～ H31. 3. 31
52	乙部運動広場			
53	ひまわり学園(児童発達支援センター)	(社福)盛岡市社会福祉 事業団	障がい福祉課	
54	しらたき工房(障害者支援施設)	(社福)盛岡市社会福祉 事業団		

9. 業務スケジュール

(1) スケジュール

本業務の実施スケジュールは、以下の通りである。

表一業務スケジュール

業務内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体統括	→					
予算管理	→					
調査票等スキームの設計	→					
担当課ヒアリング		→				
指定管理者ヒアリング調査及びまとめと分析			→			
全体とりまとめ				→		
報告書の作成と調整					→	

(2) 業務分担

本業務における業務の分担は、以下の通りである。

表一業務の分担

団体	業務分担
NPO 法人政策 21	全体統括、予算管理、調査票等スキームの設計、担当課ヒアリング、指定管理者ヒアリング調査及びまとめと分析、全体とりまとめ、報告書の作成と調整
(株) 邑計画事務所	調査票等スキームの設計、担当課ヒアリング、指定管理者ヒアリング調査及びまとめと分析、全体とりまとめ、報告書の作成と調整

10. 業務の経過

表一 調査及び打合せ業務等の実施状況

日付	内容	備考
平成26年10月17日	事務局打合せ	盛岡市市長公室行政経営課
11月上旬～下旬	担当課からの資料借用	盛岡市市長公室行政経営課
11月20日・21日	担当課ヒアリング調査	盛岡市役所
11月26日	盛岡市社会福祉事業団及び盛岡市社会福祉協議会玉山支所ヒアリング調査	盛岡市社会福祉事業団本部 盛岡市社会福祉協議会玉山支所
12月10日 11日 15日 17日 22日 24日	指定管理施設ヒアリング調査	盛岡市内
平成27年1月15日 21日 22日 27日 28日	指定管理施設ヒアリング調査	盛岡市内
2月5日	指定管理施設ヒアリング調査	盛岡市内
平成27年1月～2月	調査結果のとりまとめ	NPO 法人政策21・(株) 邑計画事務所
3月上旬	調査結果各課照会	盛岡市市長公室行政経営課
3月13日	報告書納品	盛岡市市長公室行政経営課

第2章 調査結果の概要

1. 総括評価

(1) 全体的な傾向

本年度の評価の対象となった54施設の管理運営状況について、仕様を満たしているかどうか、5段階(S、AA、A、B、C)で評価を行った。

その結果、各施設において、項目別の評価はAA評価が最も多く51.5%を占め、S評価は20.6%、A評価が22.5%という結果であった。B評価及びC評価は皆無であり、全ての施設において仕様を満たしている状況であることが、確認された。

個別にみると、S評価が30%を超えた施設が2カ所あった(土淵地区活動センター、知的障害児施設(ひまわり学園)。また、AA評価が目立ち50.0%を超えたところが33施設であった。

各施設によってこのような差異はみられたものの、全体の評価は高くおおむね良好な管理運営の状況にある。

(2) 項目別評価の傾向

本調査で設定した視点による項目別の評価結果の傾向は、以下の通りである。

①施設の設置目的や役割について

各施設における事業計画書の基本方針は、施設の設置目的に合致している。また、施設の設置目的や役割、基本方針について、全職員に周知し理解させる取り組みについては、年に一度の確認だけではなく、多いところでは毎月の会議において確認されるなど、それぞれにおいて取り組みがみられる。さらに、で運営概要を作成し、その運営概要を手引きとして日々の業務を行っている特色の見られる施設もあった。これらの点に関する2つの項目については、AA評価が多くなっている。

②施設の管理体制について

業務は、事業計画通りに行われており、S評価が14.8%、AA評価が85.2%となっている。S評価の8施設については、事業計画づくりに工夫が見られる施設である。職員配置についても、自主事業の実施への対応など、全ての施設で、仕様に基づく職員配置を超えて人員を充実(AA及びS評価)させている。

また、施設の設置目的や課題・問題に対応した適切な研修の実施については、S評価が25.9%、AA評価が74.1%となっている。S評価の14施設については、指定管理者本部(社会福祉事業団及び社会福祉協議会)で実施される各種研修の他に、施設独自で研修を実施している施設である。

火災や地震など緊急時や防災対策の標準書(手引き、マニュアル)が作成され、全ての施設で仕様に基づく訓練が行われている。S評価の13.0%の7施設では、仕様を超えて施設独自で防災に対する取り組みを行っている。

③施設・設備の維持管理について

指定管理者の管理に起因する事故は、90.7%の施設で起きていない。事故を起こした施設も軽微な事故であり、対処も適切に行われている。さらに、起こさないための創意工夫ある取り組みもみられる。

また、全ての施設において、補修・修繕、日常的な清掃などにより、機能・美観が良好な状態に保た

れており、取り組みに工夫がみられる。

施設設備の維持・管理に関して、全く苦情がないところが48か所（S評価）みられ、残り全ての施設において、利用者や近隣住民からの苦情に対して、特筆すべき再発防止策（AA評価）に取り組みられている。

④経営状況の適正化について

今回評価を実施した施設は、指定管理制度に移行してから2期目及び3期目の施設であった。経費削減効果を見た場合、そもそもの指定管理予算が削減傾向であるため、比較が難しく、本調査では評価無しとした。

業務を再委託する際の手続については、見積り書・委託契約書等があり、適切に行われている。また、会計処理に関しては、誤りや不正が起らないような措置がとられている

経費の縮減及び効率的な管理運営のための創意工夫については、全ての施設で、暖房費や水道費等の運営費の削減に勤めている。

⑤サービスの向上について

利用申込の受付手順に関しては、全ての施設で、適切な取り決めやルールがあり、適正に対処されている。また、同一団体による占有的な利用がなく、適切な予防策がとられている。

施設の利便性向上を図るための情報発信として、全ての施設で本部管轄（社会福祉事業団及び社会福祉協議会）のホームページが作成されている。また、施設独自の広報紙を1ヶ月に1回程度、周辺地域に配布されており、効果的とみられる方策が具体的に確認された。S評価となっている13.0%の7施設においては、月2回の広報紙の発行や施設独自のホームページの立ち上げを行っている（または現在は準備中）など特色が見られる。

また、各施設における自主事業は、施設の設置目的・ミッションに完全に合致し、9割以上の施設において、効果が具体的に確認されている。これは、今回評価した施設で、各地域の福祉推進会の事務局を担っていることから、地域住民と連携し、世代間交流や地域資源の活用を目的に多種多様な取り組みを行っていることが背景にある。

利用者の要望・意見・苦情を把握し、改善に結びつける手順として、全ての施設で、何らかの定例的な実施策やマニュアルが決められ、業務に効果的に生かされている。S評価となっている7.4%の4施設では、より積極的に利用者の意見を把握することに勤めている。

施設の運営に利用者が関与することについては、全ての施設で義務づけられているわけではないものの、地区活動センターや老人福祉センターや児童センターを中心に、利用者代表者会議や児童センターの保護者会を実施し、施設運営に寄与している。

⑥目標設定と達成度合いについて

管理運営や自主事業の目標設定については、全ての施設において何らかの目標を設定して業務が行われているが、具体的な目標を掲げている施設は少なく、A評価が77.8%であった。

管理運営全般の定期的評価、個々の自主事業についての目標設定と評価、改善の実施については、全ての施設で何らかの評価と改善が実施され、サービス水準の向上等に向けた効果的な方策を講じている（AA及びS評価）と認められた。特にS評価となっている9.3%の5施設においては、各事業において毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、運営面の工夫が見られる。なお、PDCAサイクルのマネジメントを意識して事業展開している施設も見受けられた。

⑦個人情報保護における個人情報の適正管理について

個人情報保護に関しては、その取扱ルール、マニュアル作成など、書類や電子媒体の管理に職員の意識づけがされている。全施設において、苦情・指摘が全くないとされている。

⑧協働の視点

定期報告書は、ほぼ全ての施設で担当課に期日までに提出され、記載内容にも問題がないものと確認された。また、必要に応じて、担当課との間で、施設（特に修繕）に関する課題・問題点の共有がなされ、維持・管理に関しての担当課からの指導・指示が行われている。

⑨利用者満足度

全ての施設で平成 25 年度より実施されている「モニタリング調査」において、満足度の把握に努めている。しかし、結果を施設運営に反映できていないことが課題と思われる。

S評価の2施設では、施設独自で特色ある満足度の把握方法（不満足度調査）を実施している。

表一項目別評価の結果

区 分		評 価						
		S	AA	A	B	C	—	計
(1) 施設の設置目的や役割について	項目数	2	106	0	0	0	0	108
	%	1.9	98.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(2) 指定管理者制度を導入している施設の管理体制について	項目数	31	185	0	0	0	0	216
	%	14.4	85.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(3) 施設・整備の維持管理について	項目数	57	96	9	0	0	0	162
	%	35.2	59.3	5.6	0.0	0.0	0.0	100.0
(4) 経営状況の適正化について	項目数	108	6	48	0	0	54	216
	%	50.0	2.8	22.2	0.0	0.0	25.0	100.0
(5) サービスの向上について（自主事業を含む）	項目数	63	231	0	0	0	30	324
	%	19.4	71.3	0.0	0.0	0.0	9.3	100.0
(6) 目標値の設定と達成度合いについて	項目数	5	61	42	0	0	0	108
	%	4.6	56.5	38.9	0.0	0.0	0.0	100.0
(7) 個人情報保護における個人情報の適正管理について	項目数	54	2	52	0	0	0	108
	%	50.0	1.9	48.1	0.0	0.0	0.0	100.0
(8) 協働の視点について	項目数	0	110	160	0	0	0	270
	%	0.0	40.7	59.3	0.0	0.0	0.0	100.0
(9) 利用者アンケートについて	項目数	2	10	42	0	0	0	54
	%	3.7	18.5	77.8	0.0	0.0	0.0	100.0
計 (29項目)	項目数	322	807	353	0	0	84	1566
	%	20.6	51.5	22.5	0.0	0.0	5.4	100.0

注1) 項目数は、(1)～(9)各区分について5施設を評価した結果をカウントしたものであり、項目数の計は、()に示した各区分の項目数×5の値と一致する。

注2) %は、(1)～(9)各区分において、各評価項目数/項目数計×100によって求めた。

2. 施設の用途別傾向

本評価において対象としたのは、下表に示すように、地区活動施設、高齢者福祉施設、児童福祉施設、障がい者福祉施設であった。

以下、評価対象となった各施設の用途別に、管理運営状況の傾向を整理する。

表一 評価対象施設の類型

類型施設名	施設名
地区活動施設 (12 施設)	仙北地区活動センター、中野地区活動センター、みたけ地区活動センター 太田地区活動センター、土淵地区活動センター、つなぎ地区活動センター 青山地区活動センター、厨川地区活動センター、松園地区活動センター 加賀野地区活動センター、本宮地区活動センター、乙部運動広場
高齢者福祉施設 (19 施設)	青山老人福祉センター、厨川老人福祉センター、松園老人福祉センター 加賀野老人福祉センター、本宮老人福祉センター、杜陵老人福祉センター 西厨川老人福祉センター、北厨川老人福祉センター、仁王老人福祉センター 山王老人福祉センター、桜城老人福祉センター、山岸老人福祉センター 上田老人福祉センター、大慈寺老人福祉センター、下太田老人福祉センター 緑が丘老人福祉センター、上米内老人福祉センター、世代交流センター 乙部老人福祉センター
児童福祉施設 (21 施設)	厨川児童センター、松園児童センター、加賀野児童センター 本宮児童センター、北厨川児童センター、仁王児童センター 山王児童センター、桜城児童センター、山岸児童センター 上田児童センター、大慈寺児童センター、下太田児童センター 緑が丘児童センター、上米内児童センター、見前児童センター 津志田児童センター、永井児童センター、巻堀児童館、日戸児童館 好摩児童館、渋民児童館
障がい者福祉施設 (2 施設)	ひまわり学園 (児童発達支援センター)、しらたき工房 (障害者支援施設)

(1) 地区活動施設における管理運営の傾向

主にスポーツ活動の貸館施設として運営されている。地域住民の利用はもちろんのこと、広く盛岡市民に利用され、一部市外からの利用もある。地域住民を中心としてレクリエーション機能として役割を担っており、地域周辺の学校部活動の利用やスポーツサークルや趣味サークルの活動拠点となっている。

また、福祉推進会や地元町内会との共催により、あらゆる世代の地域住民を巻き込んだスポーツ大会などを実施しており、地元密着と世代間交流にも取り組んでいることが特徴である。

自主事業としては仕様書で定められている年間2回の主催講座の開催を行っている施設が多く、今後はより利用を促進するためには、主催講座の回数増や内容を吟味することが求められる。

また、一般利用者から利用料収入を徴収する利用ケースと徴収しない利用ケースがあり、運用方法を一定の基準とする必要がある。

施設管理全般としては、運営実績を持つ社会福祉法人が指定管理を行っていることから、安定感のある運営状況となっており、問題なく業務が遂行されている。

(2) 高齢者福祉施設における管理運営の傾向

主に地域に住む高齢者の活動施設として運営されている。

また、福祉推進会や地元町内会との共催により、あらゆる世代の地域住民を巻き込んだスポーツ大会などを実施しており、地元密着と世代間交流にも取り組んでいることが特徴である。

高齢者が利用する施設ということで、施設のバリアフリー化やトイレの改修など、施設の老朽化に伴う修繕の要望も多く、市の予算の関係もあるが、計画的に対応を行うことが求められる。

近年、利用数の減少傾向が見られるため、利用者を確保するための取り組みが求められる。特定の施設（大慈寺老人福祉センター）では、新しい世代の利用者（団塊の世代）の掘り起こしを目的とした、講座の実施を行っている。

施設管理全般としては、運営実績を持つ社会福祉法人が指定管理を行っていることから、安定感のある運営状況となっており、問題なく業務が遂行されている。

(3) 児童福祉施設における管理運営の傾向

主に地域周辺の小学生が利用する施設として運営されている。

全施設に児童厚生員が配置され、その職員を中心として児童の健全育成に努めている。

多くの施設では、元小学校の教員（永井児童センターでは、前永井小学校の校長が施設長）が施設長を勤めており、現役時代に培ってきた専門的な知識を生かしながら、地域の実情も理解した上で運営に当たっていることも特徴である。

近年の傾向としては、少子化が進展しているものの、子育て世代のライフスタイルやニーズの多様化により、特定の地域（盛岡盛南地区周辺や玉山区巻掘地区、渋民地区）において、利用児童の増加傾向が見られる。全体としては、施設利用児童は横ばいの傾向である。

利用児童の増加傾向が見られる施設では登録児童が100人を超す施設もあり、利用人数に応じた職員の適性配置についての検討の必要もある。

発達障がいのある児童も増加しており、その対応に苦慮しているものの、指定管理者が今年度から新たに雇用した発達障がい児に対応を専門とする職員を配置し、その職員が各施設と連携し対応することで改善を図っている。

施設管理全般としては、運営実績を持つ社会福祉法人が指定管理を行っていることから、安定感のある運営状況となっており、問題なく業務が遂行されている。

(4) 障がい者福祉施設における管理運営の傾向

指定管理者となっている盛岡市社会福祉事業団は、長年障がい者福祉施設の運営を行っており、専門的なノウハウの蓄積があることから、障がい者福祉施設という特殊な様態の施設であっても、安定した運営を行っていることが特徴である。

ひまわり学園（児童発達支援センター）については、盛岡周辺唯一の障がいのある幼児の受け入れ施設である。近年、発達障がいのある幼児が増加傾向であることから、さらなる施設拡充が望まれる。

しらたき工房（障害者支援施設）については、重度の知的障がい者の受け入れ施設であり、利用者の高齢化の課題がある。また、障がい者が自立するための工賃のアップの検討も必要である。

施設管理全般としては、運営実績を持つ社会福祉法人が指定管理を行っていることから、安定感のある運営状況となっており、問題なく業務が遂行されている。

3. 施設別評価の結果

次頁以下に示す各々のシートは、本年度の評価対象となった施設ごとの評価結果の概要について、1施設1頁に整理したものである。

各シートには、施設名及び指定管理者名、所在地、電話番号、ホームページ、施設の概要を表記するとともに、調査結果として、下記の(1)～(4)について、各施設の特徴的な内容を整理するものとした。

(1) 管理運営の面で優れている点

「管理運営の面で優れている点」として、「S評価」となった項目を中心に、管理運営が優れている点を3点記載している。

(2) 今後に向けてより充実が期待される点

今後に向けた課題や改善ポイントについて、「今後に向けてより充実が期待される点」として、各施設の特徴的な事項を整理した。

ただし、本評価対象となった施設はいずれも管理運営の水準が高いことから、現在取り組まれている事項について、主に「施設の特徴がみられるものとして、今後も継続した取り組みが期待されるもの」を示す内容を記すものとした。

(3) 利用者満足の把握について

各施設においては、利用者の満足度を把握する取り組みが行われている。その結果から、特徴的な傾向について、ヒアリング内容から抜粋した。

(4) その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋

施設の特徴について、上記(1)や(2)を補う事項として、ヒアリング調査シートの「特記事項(調査員のコメント)」に記載された内容を抜粋して記すものとした。

施設名	仙北地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市仙北二丁目4番13号
電話番号	019-635-9356
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/senbokukatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。特に当施設は、福祉推進会和町内会連合会の事務局を担っていることから、これらの組織と連携して事業を展開している。仙北地区町内対抗大運動会、仙北地区納涼祭、仙北文化祭は大きなイベントであり、地区住民が多くあつまる。世界間交流や地域間交流が積極的に行われている。</p> <p>S：苦情は無い。苦情が起こるかもしれないことへの対応として、音が出る活動を行う利用者（音楽や踊りの活動）については、大きな音は出さないことや窓を開けないことなどの対応を行っている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。特に、各事業は仙北地区社会教育福祉推進会や仙北地区町内会連合と連携して事業を展開している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>施設は、3階建てであり部屋数も多いことが特徴である。施設PRとして、施設広報誌「明治橋だより」を2ヶ月の一度のペースで発行しているということであるが、他の類似施設では毎月の発行をしているところも多く、それら施設を参考とし、発行回数を増やし、施設PRをより積極的に行うことを期待したい。</p> <p>また、福祉推進会等の地域組織の事務局も担っているが、地区住民との連携がやや不十分であるところも見受けられるので、地区住民がより地域活動の運営に関わることも期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>当施設は、地区活動センターの運営と並行して、仙北地区社会教育福祉推進会や仙北地区町内会連合会の事務局ともなっており、事業は多岐にわたる。各職員に役割を分担し業務を行っているが、負担も大きいという声が職員からあった。このことから、地区住民の施設運営やイベント運営についての協力体制の構築が必要である。</p> <p>利用者を増やすことが大切であると考えているが、福祉推進会などの地域活動が多いため、利用者増への取り組みが十分に行えていないという課題もあり、主催講座の趣向を凝らすなどの利用者増の取り組みも期待したい。</p>	

施設名	中野地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市東安庭字小森 57 番地 1
電話番号	019-652-3288
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/nakanokatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：施設の補修や修繕や清掃についての工夫が見られる。日々の清掃を職員や利用者で行っている。施設周辺の除雪、植栽、樹木については、老人クラブやPTA等の地域のボランティアと協力して整備している。また、施設内の器具や設備の軽微な修繕は、施設長自らは行っていることも特徴であり、職員と地域住民が連携して管理していることが特徴である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。福祉推進会と町内会連合会の事務局を担っていることから、これらの組織と連携して自主事業を展開している。福祉協議会との共催の体育祭、文化祭、野球大会、卓球大会は参加者も多く大変盛り上がる行事である。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。特に、各事業は中野地区振興協議会や中野地区町内会連合会と連携して事業を展開している。各種事業は中野小学校等の周辺施設と連携して事業を行っていることも特徴である。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>地区活動センターの運営と並行して、中野地区振興協議会や中野地区町内会連合会の事務局ともなっており、事業は多岐にわたる。各職員と地域住民の連携が強く協力しながら事業を展開している。</p> <p>特に体育祭、文化祭、演芸祭は地域の一大行事であり、多くの参加者が訪れる。今後もこれからの地域行事を持続させ、地域の拠点施設として機能していくことが必要である。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>施設長としては、利用者を増やすことが大切であると考えている。他の類似施設と比べて体育館及び駐車場が広い。また、比較的市街地に近いこともあり利用者は増えている。また、盛岡市外の利用もある。この施設の利点を生かして、よりPRしていくことでさらなる利用者増を期待したい。</p>	

施設名	みたけ地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市みたけ四丁目 10 番 52 号
電話番号	019-641-7817
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/mitakekatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画づくりに創意工夫が見られる。各事業は福祉推進会与連携して事業を展開している。福祉推進会の事業計画が立てられてから、センターの事業計画を立てており、連携が図られている。主催講座の回数も多く、その目的は新しいサークルの組織化とそれに伴う利用者増であり、積極的に事業展開が図られている。</p> <p>S：施設の情報発信方法に工夫が見られる。月2回センターだよりを作成し、町内に全戸に配布している。福祉推進会との共催事業や主催講座については、チラシを作成し町内に回覧している。センターの活動への理解や事業の周知には広報が有効だと考え、他施設よりも多く（月2回ペース）広報を作成していることが特徴である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。福祉推進会の事務局を担っていることから、これらの組織と連携して事業を展開している。特にセンター祭りは3日間開催され、地域にある7つの福祉事業所とも連携しており、また野田村との交流で野田村からの出店もある。</p> <p>さらに、センターの利用者増を目指すために、主催講座を平成25年度は8講座18回行っている。これは、主催講座から新しくサークルが立ち上がることを目指しているものであり、今後もこのような取り組みを期待したい。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>他の類似施設に比べて、施設の情報発信と事業内容に工夫が見られる。</p> <p>情報発信は、センターだよりを月2回ペースで発行しており、センターの活動をより多くの地域住民に知ってもらうための工夫を行っている。</p> <p>事業内容については、年間8講座18回行われている。講座は、その講座に参加した方で新しいサークルを立ち上げることを目的としており、利用者増を目指していることが特徴である。</p> <p>これからの事例は、他の施設も模範とすべきものとして、さらなる活動発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者代表会会議の場でも感想を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>地区活動センターと福祉推進会で共催する「センター祭り」は地域の一大イベントとして3日間開催されている。延べ5,000人の来訪者がある。サークルの展示や発表会がメインとなるが、地域にある福祉事業所や野田村方の出店もある。積極的にセンター事業を行っており、今後も活動に期待したい。</p>	

施設名	太田地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市中太田深持9番地
電話番号	019-658-1330
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/ootakatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。自治会協議会と共催で行う活動がメインとなっており、センター杯というスポーツイベントを年3回（バレーボール大会、グランドゴルフ大会、卓球大会）開催しており、非常に好評である。また、センター祭りを10月に開催している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は太田地区自治会協議会と連携して事業を展開している。毎週木曜日に11の自治会長が集まり、自治協議会の活動を含めたセンターの活動について協議を行っていることが特徴である。</p> <p>AA：管理運営全般の定期的評価に工夫が見られる。毎週木曜日に開催される自治会長会議の場で各種事業の反省について取りまとめている。この内容は職員に周知するとともに、次年度の事業計画づくりの参考としている。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。また、職員間で口頭によって、反省を共有することも務めている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>太田地区自治会協議会と連携し、各種の事業を展開していることが特徴である。特に、地域住民を対象としたスポーツ大会に特色が見られ、「センター杯」という名目で実施されている。センター杯には、各年代の参加者が集まることで、世代間交流が活発に行われている。</p> <p>この取り組みを持続、発展させていくことでより地域に密着した施設となることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者が利用した後に感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>平成26年10月に太田地区活動センターの開設30周年ということで、記念誌を発行し、これまでのセンターの取り組みについて広く地域住民に広報する取り組みが行われている。記念誌は、地域の歴史や資源なども盛り込んだ内容となっており、この記念誌を活用した新たな取り組み（講座の開設など）も期待したい。</p> <p>施設の老朽化に伴う設備の不具合が発生している。入口付近の自動ドアのセンサーに不具合があり、人を感知することなく、すぐに閉じてしまう。早急な対応が求められる。</p> <p>また、体育館のハロゲンランプも5基故障しており、早期の取り替えが必要である。</p>	

施設名	土淵地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市前潟四丁目 4 番 30 号
電話番号	019-645-1630
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/tutibutikatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：施設の基本方針の周知に工夫が見られる。年次の事業計画書に運営方針及び運営の重点が記載しており、計画策定時には職員で運営方針と運営の重点を確認して計画を立案している。</p> <p>施設独自で、「運営概要」を作成し、施設の目的や役割や事業計画をまとめ、職員に配布し周知徹底を図っていることが特徴である。</p> <p>S：施設の補修・修繕・清掃に工夫が見られる。日々の清掃については、職員や利用者で行っているが、近隣施設である盛岡前潟イオンとの連携も図れており、合同で年2回の清掃活動も行っている。このように地域の企業との連携が図られていることが特徴である。</p> <p>S：利用者の要望・意見・苦情を把握する方法に工夫が見られる。利用者が施設利用後に提出する「利用確認票」に意見は要望を記載する欄を設け、ご意見をいただくこととしている。頂いた意見は設備に関しては事業団本部に連絡し、施設運営に関して職員に周知し改善にあたっている。また年1回施設独自でアンケートも行っており、施設の運用について把握している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>推進協議会と共催で行う活動がメインとなっている。特に地区住民が参加する運動会は60回行われている地域の一大イベントとなっている。</p> <p>センターが開設されて30年経ったことによる記念事業も行われ、地域の伝統芸能やサークルの発表など大変盛り上がり、地域の大切なコミュニティ施設として役割を果たしている。</p> <p>この取り組みを持続、発展させていくことでより地域に密着した施設となることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者が利用した後に感想等を聞くことに努めている。</p> <p>施設独自で年1回アンケートも行われており、結果は良好であるが、意見は把握し職員で共有を図り、運営の参考としている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>施設運営全般について工夫が見られる施設である、特に施設独自の「運営概要」の作成や、「利用確認票」を用いた利用者からの意見要望苦情の把握方法は、特色があり他の施設も参考とすべき取り組みである。</p> <p>土淵地域は人口が増加している地域であり、今後も利用者増が見込めることから、施設の周知を図ることも必要である。一方で、施設の部屋数に限りがあり、利用者の増加があれば、利用者の使用方法について対応方法を検討することも必要がある。</p>	

施設名	つなぎ地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市繁字堂ヶ沢 36 番地 1
電話番号	019-689-2365
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/tunagikatudou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：火災や地震などの対応について工夫が見られる。年3回の避難訓練の実施、施設内の各部屋への避難経路図を掲示、防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網の完備等を行っている。</p> <p>平成 25 年 8 月の大雨被害の時は、避難所となり、つなぎ温泉の宿泊者等の 1 次避難場所として機能した。避難所運営は問題なく行うことができた。この取り組みは普段からの防災に対する備えがあったことから機能した事案である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。11 月に行われるセンター祭りと町内文化祭・収穫祭は、センターと推進協議会の協働で開催しており、大変好評である。また、つなぎ活動センターの特徴として、毎年 1 月につなぎ地区の成人行事「新成人を祝う会」や 3 月に中学 3 年生の卒業行事「新たな旅立ちを祝う会」も行われており、つなぎ地区というまとまりのある地域性を生かした地域密着型の行事が行われていることが特徴である。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業はつなぎ地区振興福祉推進協議会やつなぎ地区町内会と連携して事業を展開している。つなぎ地区は町内会が 1 つなので行事の運営や地域住民の連携が比較的容易であることが特徴である。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>つなぎ地区というまとまりのある地域性を生かした事業の展開を期待したい。</p> <p>観光地ということもあり、観光客がトイレの利用を行うこともある。それらの観光客に対して、休憩スペースや地域の紹介を行うことを行い、地域住民だけではなく観光客に対しても利用される施設として運営されることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者懇談会の中でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>つなぎ温泉に宿泊している市外高校生の部活遠征の練習場（バレーボール等）で利用されることがあり、また、盛岡市と雫石町との境にあり、市外の利用もあるため、このことから、施設としては利用料徴収の考え方を統一したいと考えている。これは市担当課と事業団本部で利用料徴収の統一の方針を示すことが必要である。</p>	

施設名	青山地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市青山三丁目 37 番 7 号
電話番号	019-646-1593
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/aoyamaheisetu/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修の方法に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加し、研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。その他、施設長が元市職員という職歴を生かし、文書作成の指導を行うなどの特徴が見られる。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。推進会と共催で行う活動がメインとなっている。特にセンター文化祭は今年で23回目であり、好評なイベントである。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は青山地区活動推進会と連携して事業を展開している。</p> <p>青山地区には活動推進会とは別にまちづくり協議会という組織もあり、その協議会で行っている事業と調整して事業がかぶらないように工夫して実施していることが特徴と言える。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>青山地区には、青山地区活動推進会と青山地区まちづくり協議会の2つのまちづくり組織がある。さらに連携と深めた事業展開を図り、活動の充実を図ることが求められる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者懇談会の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>当施設は、老人福祉センターと地区活動センターの合築施設である。他の施設にはない作業所や陶芸用の焼き窯を有しており、規模が大きく、利用者数も多い。</p> <p>地区活動センターで管理している施設として、離れた場所に体育館とコミュニティ広場を有している。離れた場所の施設も適切に連携して運営を行っている。</p> <p>青山地区には、青山地区活動推進会と青山地区まちづくり協議会の2つのまちづくり組織がある。さらに連携を深めた事業展開を図り、活動の充実を図ることを期待したい。</p> <p>施設内にエレベーターが完備されており、利用者（特に高齢者）には好評のようである。</p>	

施設名	青山老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市青山三丁目 37 番 7 号
電話番号	019-646-1593
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/aoyamaheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修の方法に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加し、研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。その他、施設長が元市職員という職歴を生かし、文書作成の指導を行うなどの特徴が見られる。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。推進会と共催で行う活動がメインとなっている。スポーツ大会を行っている。主催講座は年間 10 回程度開催しており、利用する高齢者に合わせた健康講座を多く開催していることが特徴と言える。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は青山地区活動推進会と連携して事業を展開している。</p> <p>主催講座は年間 10 回程度開催しており、参加者が満足するために、講座の講師の人选は、利用者の声を参考にするなど、事業計画づくりに工夫が見られる。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>青山地区には、青山地区活動推進会と青山地区まちづくり協議会の 2 つのまちづくり組織がある。さらに連携と深めた事業展開を図り、施設の充実を図ることが求められる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者懇談会の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>当施設は、老人福祉センターと地区活動センターの合築施設である。他の施設にはない作業所や陶芸用の焼き窯を有しており、規模が大きく、利用者数も多い。地区活動センターで管理している施設として、離れた場所に体育館とコミュニティ広場を有している。離れた場所の施設も適切に連携して運営を行っている。</p> <p>青山地区には、青山地区活動推進会と青山地区まちづくり協議会の 2 つのまちづくり組織がある。さらに連携を深めた事業展開を図り、活動の充実を図ることを期待したい。</p> <p>施設内にエレベーターが完備されており、利用者（特に高齢者）には好評のようである。</p>	

施設名	厨川地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市前九年三丁目 7-1
電話番号	019-647-1982
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kuriyagawagattiku/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修の方法に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。それに加え、施設長が元消防関係者であり、その経験を活かして防災訓練やAEDの講習会を施設独自で実施していることに特徴がある。</p> <p>S：火災や地震などの対応について工夫が見られる。地区活動センターと老人福祉センター合同で年2回の避難訓練が行われている。福祉推進会が主催する地域の防災訓練も毎年10月第1日曜日に実施している。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。元消防関係者の施設長の監修で作成している。また、利用者説明会の場で、利用団体のリーダーが避難時に誘導役になってもらうように説明を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特性を活かし、3世代交流事業であるグランドゴルフ大会、クリスマス会、もちつき大会を実施している。主催講座としては年2回実施している。7月上旬には「東厨川趣味の発表展示会」を開催し、サークル活動の発表の場としている。10月上旬には、防災訓練も盛り込んだ「さんままつり」を行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>施設長の職歴を生かした研修の実施、火災や災害対応への工夫が見られることが特徴である。施設独自の取り組みとして、今後も継続発展を期待したい。また、他の類似施設も参考とすべき点である。</p> <p>自主事業も総意工夫が見られ、3館合築館の特性を生かした世代間交流のイベントを積極的に行うなどの地域の核施設として十分に機能している。この取り組みも継続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者団体会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>近接している前九年公園を町内会で管理していることから、施設と公園を一体として活動を行っていることが特徴である。3館合築施設の特性を活かし、世代間交流事業に力を入れている。また、東厨川地区福祉推進会や町内会の事務局もあることから、地域交流にも積極的に取り組んでおり、多種多様な取り組みが行われているようである。</p> <p>施設長が元消防関係者ということもあり、防災や消防活動に積極的に取り組んでいる印象を受けた。</p>	

施設名	厨川老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市前九年三丁目 7-1
電話番号	019-647-1982
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kuriyagawagattiku/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修の方法に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。施設長が元消防関係者であり、その経験を活かして防災訓練やAEDの講習会を施設独自で実施している。</p> <p>S：火災や地震などの対応について工夫が見られる。地区活動センターと老人福祉センター合同で年2回の避難訓練が行われている。福祉推進会が主催する地域の防災訓練も毎年10月第1日曜日に実施している。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。元消防関係者の施設長の監修で作成している。また、利用者説明会の場で利用団体のリーダーが避難時に誘導役になってもらうように説明を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特徴を活かし、3世代交流事業であるランドゴルフ大会、クリスマス会、もちつき大会を実施している。主催講座としては年6回実施している。7月上旬には「東厨川趣味の発表展示会」を開催し、サークル活動の発表の場としている。お年寄りの健康増進のための「マグネットダーツ大会」も開催している。マグネットダーツや輪投げと体力測定を行っている。このような特色ある事業を行っている特徴がある。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>自主事業も創意工夫が見られ、3館合築館の特徴を生かした世代間交流のイベントを積極的に行うなどの地域の核施設として十分に機能している。この取り組みも継続発展を期待したい。</p> <p>老人福祉センターとしては、健康増進を目的とした健康講座も開催しており、健康講座と合わせて体力測定を行うなど工夫が見られる。このような特色ある事業を継続発展していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者団体会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>3館合築施設の特徴を活かし、世代間交流事業に力を入れている。また、東厨川地区福祉推進会や町内会の事務局もあることから、地域交流にも積極的に取り組んでおり、多種多様な取り組みが行われているようである。</p> <p>老人福祉センターとしては、自然体験活動や健康増進のための取り組みも行われており、非常に有意義な活動である印象を受けた。</p>	

施設名	厨川児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市前九年三丁目 7-1
電話番号	019-647-1982
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kuriyagawagattiku/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修の方法に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。施設長が元消防関係者であり、その経験を活かして防災訓練やAEDの講習会を施設独自で実施している。</p> <p>S：火災や地震などの対応について工夫が見られる。地区活動センターと老人福祉センター合同で年2回の避難訓練が行われている。福祉推進会が主催する地域の防災訓練も毎年10月第1日曜日に実施している。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。元消防関係者の施設長の監修で作成している。</p> <p>利用者説明会の場で利用団体のリーダーが避難時に誘導役になってもらうように説明を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特性を活かし、3世代交流事業であるグランドゴルフ大会、クリスマス会、もちつき大会、実施している。毎月1回図書の読み聞かせ会と映画鑑賞会を実施している。母親クラブと連携した夕涼み会や親子遠足などを実施している。厨川中や城西中の中学生ボランティアや上野法律ビジネス専門学校の生徒の職場大変も受け入れている。これらの学生ボランティアと一緒に自然探訪や落ち葉拾いと焼き芋会などを実施している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>自主事業も創意工夫が見られ、3館合築館の特性を生かした世代間交流のイベントを積極的に行うなどの地域の核施設として十分に機能している。この取り組みも継続発展を期待したい。</p> <p>児童センターとしては、母親クラブや福祉推進会と協働で様々な事業に取り組んでおり、これらの活動の持続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>3館合築施設の特性を活かし、世代間交流事業に力を入れている。また、東厨川地区福祉推進会や町内会の事務局もあることから、地域交流にも積極的にとりくんでおり、多種多様な取り組みが行われているようである。</p> <p>児童センターとしては、夕涼み会などを母親クラブや地域組織を連携して実施しており、非常に有意義な活動を行っている印象を受けた。</p>	

施設名	松園地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市西松園二丁目 18-1
電話番号	019-661-8231
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/matuzonogattiku/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：情報発信に工夫が見られる。事業団のホームページに施設概要が掲載を行っており、老人福祉センター広報「やすらぎ」を隔月で発行し、その中に活動センターの情報も盛り込んでいる。イベント時には別途チラシやポスターを作成している。さらに、盛岡市の市民協働の事業で施設独自のホームページを作成中であり、さらに情報発信に努めることを試みようとしている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特徴を活かし、3世代交流事業に特に取り組んでいる。昔遊びやスポーツ大会、もちつき、焼き芋会などを開催している。地域の一大イベントである「松園夏祭り」、「松園芸術文化祭」も地域住民と連携して実施していることに特徴がある。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は松園地区自治協議会や町内会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に「松園夏祭り」や「松園芸術文化祭」は地区の大きなイベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者との協働で行われている。また、センター主催講座は年2回行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>3館合築施設の特徴を活かし、世代間交流事業に力を入れている。焼き芋会やもちつき大会や昔遊び大会などである。</p> <p>また、松園地区自治協議会の事務局も有していることから、地域一大イベントである「松園夏祭り」や「松園芸術文化祭」にも職員はもちろん、利用者も参加をしている。</p> <p>これらの活動の持続発展をしていくことで、地域住民にとってより利用される施設として運営されていくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者が利用した後に感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>自治協議会の事務局があることで、情報が集まることは良いが、事務量が多いという課題もある。</p> <p>松園地区は人口が減っている地域であるため、サークル数が減ってきており、新しい利用者の掘り起こしを目指したい意向を持っていた。</p> <p>雪が多い地域であるが、除雪も適切に行われていた。</p>	

施設名	松園老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市西松園二丁目 18-1
電話番号	019-661-9876
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/matuzonogattiku/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：情報発信に工夫が見られる。事業団のホームページに施設概要が掲載を行っており、老人福祉センター広報「やすらぎ」を隔月で発行している。イベント時には別途チラシやポスターを作成している。さらに、盛岡市の市民協働の事業で施設独自のホームページを作成中であり、さらに情報発信に努めることを試みようとしている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特性を活かし、3世代交流事業に特に取り組んでいる。</p> <p>老人福祉センターとしては、主催講座は年6回開催している。地域内の医療機関「第二松園ハイツ介護支援センターなど」と共催で、医療保健講座、介護講座などの高齢者のための講座を行っている。また、料理教室も行っており、健康料理（減塩料理）の講座も行っている。さらに、趣味のサークルを講師とした講座も行っている。黒松剪定講座も行っており、同時に施設周辺の植栽の剪定も行うこととしている。このように事業に特色が見られる。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は松園地区自治協議会や町内会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に「松園夏祭り」や「松園芸術文化祭」は地区の大きなイベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。センター主催講座は年6回行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>3館合築施設の特性を活かし、世代間交流事業に力を入れている。焼き芋会やもちつき大会や昔遊び大会などである。これらの事業の継続発展を期待したい。</p> <p>老人福祉センターとしては、高齢者の健康や介護予防について地域の医療機関と連携して講座を行っていることが特徴である。これらの施設の特徴と言える事業を通して、利用者増やサークル増に結びつけていくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者が利用した後に感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>自治協議会の事務局があることで、情報が集まることは良いが、事務量が多いという課題もある。また、松園地域は人口が減っている地域であるため、サークル数が減ってきており、新しい利用者の掘り起こしを目指したい意向を持っていた。</p> <p>雪が多い地域であるが、除雪も適切に行われていた。</p>	

施設名	松園児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市西松園二丁目 18-1
電話番号	019-661-9876
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/matuzonogattiku/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：情報発信に工夫が見られる。事業団のホームページに施設概要が掲載を行っており、「児童センターだより」を月1回発行、地域内の小学校の全児童に配布している。イベント時には別途チラシやポスターを作成している。さらに、盛岡市の市民協働の事業で施設独自のホームページを作成中であり、情報発信に努めることを試みようとしている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。3館合築施設の特性を活かし、3世代交流事業に特に取り組んでいる。</p> <p>子供が喜ぶクリスマス会やひなまつり等のイベントを行っている。また、児童センター祭りを開催し子供の踊りの発表を行っている、この児童センター祭りには岩手大学のサークルも協力している。図書室が併設されているので、子供に対する図書の読み聞かせも行っている。このように事業に特色が見られる。</p> <p>AA：職員配置に工夫が見られる。仕様書通りの職員配置となっている。長期休養時や休日は臨時職員が対応を行っている。</p> <p>離れた場所の東松園小学校の空き教室をプレールームにも職員も配置している。職員間の連携も適切に行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>3館合築施設の特性を活かし、世代間交流事業に力を入れている。焼き芋会やもちつき大会や昔遊び大会などである。松園地区自治協議会の事務局も有していることから、地域一大イベントである「松園夏祭り」や「松園芸術文化祭」にも職員はもちろん、利用者も参加をしている。これらの活動の持続発展をしていくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者から感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>夏期にプレールームの子供が松園東小学校のプール入ることができるように母親クラブと協議していきたいということであり、このことを含めた周辺施設との連携の必要がある。</p> <p>雪が多い地域であるが、除雪も適切に行われていた。</p>	

施設名	加賀野地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市加賀野四丁目 18-56
電話番号	019-623-0407
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kaganogattiku/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。加賀野地区活動センターは約 1,400 m²の大きな体育館のみであり、地域外からの利用も多い。地区活動センターとしては体育館を活用した2つの主催講座のみを行っている状況である。3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域住民と連携して開催している。3館合築施設の特徴から、3施設の利用者も参加するイベントが展開されており、地域に根付いている。</p> <p>AA：申し込みの受け付けや手順など適切に行われている。施設は体育館のみであることから、同一時間は2団体の利用とし、3団体以上の申し込みがあった場合は抽選で決めている。利用についての苦情などはない</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は加賀野地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地区の大きなイベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>加賀野地区福祉推進会の事務局も有していることから、3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」については、職員はもちろん、利用者も参加をしている。地域に根付いた活動となっている。これらの活動を持続発展させていくことを期待したい。</p> <p>地区活動センターとしては、大規模体育館を有しており、地区外からの利用も多い。施設をより有効利用するために、施設PRに力を入れることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>運動会と文化祭の後には協力して頂いた方に対してアンケートを実施している。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域に根付いた活動となっている。</p> <p>地区の避難所にも指定されており、避難用の物品が多く、収納スペースが限られていることが課題であると見受けられた。</p> <p>体育館の屋根から落ちる雪の対応として、落雪する場所にコーンを立て、立ち入り禁止にするなどの対応を行っていた。</p>	

施設名	加賀野老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市加賀野四丁目 18-56
電話番号	019-623-0407
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kaganogattiku/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。老人福祉センターの利用者が減少していることから、利用者を増やすために施設長自らカラオケサークルやグランドゴルフサークルを立ち上げ活動を行っている。3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域住民と連携して開催している。3館合築施設の特性から3施設の利用者も参加するイベントとして地域に根付いている。</p> <p>AA：補修・修繕・清掃を適切に行っている。日々の清掃は職員と利用者（施設利用後）で行っている。降雪が多い場合は地元の建設業者にボランティアに除雪をお願いしている。年数回利用者と一緒に掃除をする機会を設けている。時期によっては草取りを行う。附属小の子供たちが年1回清掃する。学校側も協力的である。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は加賀野地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地区の大きなイベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>加賀野地区福祉推進会の事務局も有していることから、3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」については、職員はもちろん、利用者も参加をしている。地域に根付いた活動となっている。これらの活動を持続発展させていくことを期待したい。</p> <p>老人福祉センターとしては、利用者を増やすために、施設長自らがサークルの立ち上げを実施しており、この取り組みを通して新たな利用者の獲得を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>運動会と文化祭の後には協力して頂いた方に対してアンケートを実施している。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域に根付いた活動となっている。地区の避難所にも指定されており、避難用の物品が多く、収納スペースが限られていることが課題であると見受けられた。</p> <p>老人福祉センターが2階で全てが座敷のため、テーブルとイスで活動したいという高齢者の声もあるようであり、その対応方法を工夫する必要がある。</p>	

施設名	加賀野児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市加賀野四丁目 18-56
電話番号	019-623-0407
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kaganogattiku/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。子供が喜ぶような七夕飾り、納涼お楽しみ会、親子遠足、クリスマス会を定期的に開催している。母親クラブとの連携も図れており、一緒に各事業を実施している。3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域住民と連携して開催している。3館合築施設の特性から3施設の利用者も参加するイベントとして地域に根付いている。</p> <p>AA：補修・修繕・清掃を適切に行っている。日々の清掃は職員と利用者（施設利用後）で行っている。降雪が多い場合は地元の建設業者にボランティアに除雪をお願いしている。年数回利用者と一緒に掃除をする機会を設けている。時期によっては草取りを行う。附属小の子供たちが年1回清掃する。学校側も協力的である。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。各事業は加賀野地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に3大行事である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地区の大きなイベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>子供が喜ぶような七夕飾り、納涼お楽しみ会、親子遠足、クリスマス会を定期的に開催している。母親クラブとの連携も図れており、一緒に各事業を実施している。</p> <p>加賀野地区福祉推進会の事務局も有していることから、3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」については、職員はもちろん、利用者も参加をしている。地域に根付いた活動となっている。これらの活動を持続発展させていくことを期待したい。</p> <p>児童センターとしては、利用者を増やすために、施設長自らがサークルの立ち上げを実施しており、この取り組みを通して新たな利用者の獲得を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>運動会と文化祭の後には協力して頂いた方に対してアンケートを実施している。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>3大事業である「ふれあい運動会」、「ふれあい文化祭」、「新春餅つき会」は地域に根付いた活動となっている。地区の避難所にも指定されており、避難用の物品が多く、収納スペースが限られていることが課題であると見受けられた。</p> <p>児童センターを利用している学校は城南小学校と附属小学校である。城南小学校とは子供の様子などの連携が図れているが、附属小学校との連携は十分でないので、今後の課題と言える。</p>	

施設名	本宮地区活動センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市本宮四丁目38-26
電話番号	019-636-3546
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/motomiyagattiku/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。各事業は本宮地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に「もとみや文化祭」、「小正月行事」は地区の大イベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。活動センターの主催講座は年3回行われている。この他に推進会主催の講座が年6回程度行われており、毎月講座が開催されている。地域の住民は毎回の講座を楽しみにしており、住民の声を反映した企画を練っている。</p> <p>S：研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。盛岡市の文書規程については、施設長が講師となり必要に応じて職員に対して研修を実施している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。「もとみや文化祭」、「小正月行事」、「子どもまつり」は地区の大イベントであり世代を超えて多くの参加者が集まる。特にもとみや文化祭は地区内の小中学校・高校の展示や出し物、さんさ踊りやサークルの展示などを4日間にわたって開催する。準備の時に他の団体などと交流するような機会にもなっている。地区活動センターとしては、地域開放の日を毎月2日設け、地区住民だけが利用できる日として利用促進を図っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>施設独自の講座の他に、推進会主催の講座も開催しており、毎月講座を実施している。他の類似施設に比べて実施回数が多く、相違工夫が見られる。今後もこの体制を継続していくことを期待したい。</p> <p>もとみや文化祭は4日間にわたって開催する行事であり、地域の子供や学生も巻き込んだものとなり、今後も継続発展していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>「もとみや文化祭」、「小正月行事」、「子どもまつり」などの事業を展開し、地域に密着した活動を行っている。特にもとみや文化祭は4日間も行われており、非常に活発な活動を行っているといえる。</p> <p>地区活動センターとしては、地域開放の日を設け、地区住民優先の日を設けるなどの工夫が見られる。周辺施設に県立美術館や原敬記念館や子ども科学館があり、それらの施設とも連携した事業を行っていることも特徴である。新しい施設であり、施設が充実しているが、節電や節水にも強く心がけており、良い印象を持った。</p>	

施設名	本宮老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市本宮四丁目 38-26
電話番号	019-635-4595
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/motomiyagattiku/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。各事業は本宮地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に「もとみや文化祭」、「小正月行事」は地区の大イベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。老人福祉センターの主催講座は年6回行われているが、この他に推進会主催の講座が年6回程度行われており、毎月講座が開催されている。地域の住民は毎回の講座を楽しみにしており、住民の声を反映した企画を練っている</p> <p>S：研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。盛岡市の文書規程については、施設長が講師となり必要に応じて職員に対して研修を実施している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。主催講座は老人福祉センター一年6回と推進会年6回開催されている。講座では、参加者が普段使うパソコンを使ったパソコン講習会の開催、ゆいっこ講座(福祉推進会、イーハトーブ支援センターと共催)として、認知症予防の活動や講座。盛岡の歴史講座として、最近では昔の県政ニュースの映像などの上映をしている。ジュニアゲートボール大会も実施しており、地区ごとに行う練習ではお年寄りから子供たちが教わるので世代間の交流になっている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>施設独自の講座の他に、推進会主催の講座も開催しており、毎月講座を実施している。他の類似施設に比べて実施回数が多く、創意工夫が見られる。今後もこの体制を継続していくことを期待したい。</p> <p>もとみや文化祭は4日間にわたって開催する行事であり、地域の子供や学生も巻き込んだものとなり、今後も継続発展していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>「もとみや文化祭」、「小正月行事」、「子どもまつり」などの事業を展開し、地域に密着した活動を行っている。特にもとみや文化祭は4日間も行われており、非常に活発な活動を行っているといえる。</p> <p>老人福祉センターとしては、利用者の声を反映してユニークな講座を行っている。回数も福祉推進会主催講座を合わせて年12回以上開催している。</p> <p>周辺施設に県立美術館や原敬記念館や子ども科学館があり、それらの施設とも連携した事業を行っていることも特徴である。</p> <p>新しい施設であり施設が充実しているが、節電や節水にも強く心がけており、良い印象を持った。</p>	

施設名	本宮児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市本宮四丁目 38-26
電話番号	019-635-4595
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/motomiyagattiku/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。各事業は本宮地区福祉推進会等の地元組織と連携して事業を展開している。特に「もとみや文化祭」、「小正月行事」は地区の大イベントであり、職員はもちろん地域住民や施設利用者の協働で行われている。児童センターとしては、自主事業として「地域探訪会」として、地域にある文化施設を見学して歩く取り組みが行われている。この他に親子遠足や七夕会やクリスマスお楽しみ会などの子供が喜ぶイベントも実施している</p> <p>S：研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。盛岡市の文書規程については、施設長が講師となり必要に応じて職員に対して研修を実施している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。推進会と連携して事業を行っている。児童センターの事業としては、世代間交流のジュニアゲートボール大会や地域探訪会などユニークな取り組みを行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>児童センターとしては、ジュニアゲートボール大会や地域探訪会など世代間の交流や地域の資源を活かした取り組みを行っていることが特徴である。本宮地域は盛岡市内で人口が増加している地域であり、これらの施設独自の取り組みを通して、より子供達の健全育成に寄与する施設となるように期待したい。</p> <p>もとみや文化祭は4日間にわたって開催する行事であり、地域の子供や学生も巻き込んだものとなり、今後も継続発展していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者から感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>「もとみや文化祭」、「小正月行事」、「子どもまつり」などの事業を展開し、地域に密着した活動を行っている。特にもとみや文化祭は4日間も行われており、非常に活発な活動を行っているといえる。</p> <p>児童センターの愛称や歌や踊りを子供達が考えており、愛称は「もつつちセンター」ということであった。周辺施設に県立美術館や原敬記念館や子ども科学館があり、それらの施設とも連携した事業を行っていることも特徴である。</p> <p>新しい施設であり施設が充実しているが、節電や節水にも強く心がけており、良い印象を持った。</p>	

施設名	杜陵老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市南大通一丁目 7-5
電話番号	019-654-9155
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/toryouroujinn/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。各事業は杜陵地区福祉推進会や町内会連合会の地元組織と連携して事業を展開している。前年度の反省を生かし、前年度の活動よりもよくなるような「PDCA」のサイクルを意識して事業を行っていることが特徴である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。「はつらつシニア塾」を福祉推進会・市社協と協力して毎月開催している。高齢者の健康づくりの活動を行っている。今まで参加したことのない人も興味を持てるように考えている。市のコミュニティ活動助成により、健康、医療、防災の講座を行っている。また、「ふれあい給食会」として長寿食について講座を行った。「虹の橋クラブ」として、遠山病院と協力して健康講座などを年6回開催している。</p> <p>S：管理運営全般の評価や改善について工夫が見られる。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。また、各行事終了後には必ず反省会を設けており、反省会前に来年度の事業担当者を決め、その担当者が会議内容のメモを取り、次年度の計画づくりに役立てている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>民間企業出身の施設長の考えの基、事業計画づくりと事業の評価において「PDCA」サイクルのマネジメントを意識しており、職員にも周知徹底させていることにより、より良い施設運営を目指していることが最大の特徴である。この取り組みは今後も継続させていき、さらなる効果を期待したい。また、は他施設でも参考となる取り組みであることから、他施設に対しても参考事例として紹介するなどの方策も検討されたい。</p> <p>自主事業も地域の病院と連携して、健康講座等を実施しており工夫が見られる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>市の中心部に位置しており、他地区からの利用も多い。</p> <p>庭園である「賜松園」、市民ロビー。茶室もあり、各種会合やサークル活動に広く利用されている。</p> <p>講座に力をいれており、工夫した内容となっている。これは施設長の考えである「前年度とは違う事業を展開しよう」という考えの基に行われている。</p>	

施設名	西厨川老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市北天昌寺町7-27
電話番号	019-647-2446
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/nisikuriyagawarou/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：防災への対応に工夫が見られる。年2回防災訓練の他に、福祉推進会と共催で矢巾町において防災体験セミナーを実施している。施設のある地区内の全町内会に自主防災隊を組織され、地域全体で防災に取り組んでいることが特徴である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。青少年健全育成事業を活用した「南部風づくり」を行っている。子供の参加もあり、世代間交流にも役立っている。大館遺跡では縄文土器の野焼きを行っており、地域資源を生かした取り組みを行っている。その他、地区福祉推進会、老人クラブ協議会の事務局として立場もあり、世代交流のスポーツ大会や地域交流のさなぶり演芸大会も実施されている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。工夫していることとして、施設近くの大館公園でグラウンドゴルフを行っている。また、利用者の声を活かした主催講座を行っている。主催講座のテーマは囲碁やパソコン講座やマッサージ体験や手芸講座等の事業を行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>防災活動に力を入れている施設であり、福祉推進会や自主防災組織と連携して、防災の取り組みを手厚く行っている施設であり、今後も活動の継続を期待したい。</p> <p>事業も、地域の資源や伝統芸能を用いた事業展開を行っており、ユニークな活動となっている。今後も、世代間交流も念頭においた事業実施を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>施設としても地域の資源を活用した講座を実施するなど、利用者が満足するような施設を志していた。</p> <p>特に防災に力をいれており、9つの町内会で自主防災組織を立ち上げるなど精力的な活動を行っていることが印象的であった。</p> <p>施設としては2階にも部屋があり、利用する高齢者は階段の上り下りに苦勞しているということであった。</p>	

施設名	北厨川老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市厨川一丁目 14 番 1 号
電話番号	019-641-3733
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kitakuriyagawaheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。児童センターの母親クラブが主催する研修会がある。テーマ決めや講師の先生なども厚生員と相談して母親クラブの方で手配している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。厨川の歴史講座やふるしき講座など人気の事業が多い。毎回 20 人程度が参加している。参加者の固定化、高齢による減少が気になりである。昨年までは農研センターと協力した探鳥会も行っていた。「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」などのイベントを実施している。地域住民を巻き込んだ魅力的なイベントを実施している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。地区福祉推進会の事務局でもあり、共催のイベントとして「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」など地域住民を巻き込んだイベントを実施している。老人福祉センターとしては年 6 回の主催行事を実施している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>併設されている児童センターの母親クラブが主体となり、施設独自の研修を実施していることが特徴である。この活動は今後も発展継続を期待したい。</p> <p>「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」など地域住民を巻き込んだイベントを実施している。魅力的なイベントを実施している。以前は近接している農研センターで探鳥会を実施していたが、現在は実施しないということで新たな地域資源を活用した取り組みを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は北厨川地区福祉推進会の事務局であり、これらの組織と連携して事業に取り組んでいる。老人福祉センター主催の講座も施設の目的に合致した内容となっている。</p> <p>10 年来の懸案であった施設内の床の凸凹の修繕を行った。</p>	

施設名	北厨川児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市厨川一丁目 14 番 1 号
電話番号	019-641-3733
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kitakuriyagawaheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。児童センターの母親クラブが主催する研修会がある。テーマ決めや講師の先生なども厚生員と相談して母親クラブの方で手配している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。児童センターでは毎月事業を実施している。岩手大学のサークルと協力して七夕や夏祭りを実施している。「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」などのイベントを実施している。地域住民を巻き込んだ魅力的なイベントを実施している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。地区福祉推進会の事務局でもあり、共催のイベントとして「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」など地域住民を巻き込んだイベントを実施している。児童センターとしては月 1 回のペースで事業を実施している。小学校の行事予定と調整して日程を組んでいる。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>児童センターの母親クラブが主体となり、施設独自の研修を実施していることが特徴である。この活動は今後も発展継続を期待したい。</p> <p>「地区納涼夏祭り」、「地区文化祭」、「三世代餅つき大会」など地域住民を巻き込んだイベントを実施している。魅力的なイベントを実施している。</p> <p>岩手大学のサークルなどの外部団体との連携がある。外部団体と連携することで、新たな取り組みの可能性が芽生え、新たな協力団体との連携の可能性も出てくることから、今後も積極的に外部団体との連携を図りながら、事業展開していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は北厨川地区福祉推進会の事務局もかねており、これらの組織と連携して事業に取り組んでいる。</p> <p>児童センターの事業は目的に合致した内容となっている。小学校とはお互いに意見しあえる関係である。長期休業時は先生が見学に来ることもある。今後は、応対が難しい子供の情報を共有できるようにしたい。</p>	

施設名	仁王老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市名須川町21番1号
電話番号	019-654-6187
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/niouheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。盛岡の史跡めぐりとして、史跡めぐりとゴミ拾いなどの奉仕活動を行っている。仁王ウォーキングを実施している。仁王地区の保健委員、食改協と協力して健康と食を参加者に周知している。スポーツ交流やミズキ団子作りでお年寄りと子供が交流する機会を設けている。地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだ魅力的なイベントを実施している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。地区福祉推進会、町内会連合会、老人クラブ連合会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。老人スポーツ大会(春・秋開催)を開催している。福祉推進会からの資金で各賞の賞品を購入している。</p> <p>AA：利用者の満足度把握に工夫が見られる。平成25年度から実施している「モニタリング調査」での満足度の把握の他に、施設独自で利用する高齢者に対してアンケートを実施し、満足度や事業のニーズを把握している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>利用者満足度の把握に工夫が見られる。モニタリング調査のアンケートの他に、施設独自で利用する高齢者に対してアンケートを実施し、満足度や事業のニーズの把握を行い、次年度の事業計画に役立てるなどの手立てが整えられている。この取り組みは継続していくことを期待したい。</p> <p>老人福祉センターの事業として、老人スポーツ大会(春・秋開催)を開催しており、今後も事業の継続が望まれる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>施設独自でもアンケートを実施しており、結果を事業計画に反映させるなどの取り組みを行っている。</p>	
<p>●その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋</p> <p>老人福祉センターとしては、健康に関する講座を多く行っている。老人スポーツ大会も開催しており好評である。</p> <p>また、市で行ったモニタリング調査について、他の施設の結果などをまとめたものがあると良いという意見があった。</p>	

施設名	仁王児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市名須川町 21 番 1 号
電話番号	019-654-6187
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/niouheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。盛岡の史跡めぐりとして、史跡めぐりとゴミ拾いなどの奉仕活動を行っている。仁王ウォーキングを実施している。仁王地区の保健委員、食改協と協力して健康と食を参加者に周知している。スポーツ交流やミズキ団子作りでお年寄りと子供が交流する機会を設けている。地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだ魅力的なイベントを実施している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。地区福祉推進会、町内会連合会、老人クラブ連合会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。児童センターとしては、サマーレクを行っており、参加者が年々増えている。盛岡のアメリカンフィールドサービス(AFS)団体と協力して海外からの留学生との交流を図っていることも施設の大きな特徴である。</p> <p>AA：事故の発生は無い。各施設の施設長会議の場での事故や怪我の事例発表と対応方法の確認の他に、事故防止のため利用者の健康観察や声掛けに努めている。児童の保護者には利用者説明会時に過去発生した事故事例などを説明している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>スポーツ交流やミズキ団子作りでお年寄りと子供が交流する機会を設けている。地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだ魅力的なイベントを実施している。取り組みは継続していくことを期待したい。</p> <p>児童センターの事業として、盛岡のアメリカンフィールドサービス(AFS)団体と協力して海外からの留学生との交流を図っていることも施設の大きな特徴である。歴史も長いということであるので、この事業は継続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>児童センターとしては、外国人留学生との交流などの特色ある事業を行っている。</p> <p>市で行ったモニタリング調査について、他の施設の結果などをまとめたものがあると良いという意見があった。</p>	

施設名	山王老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市山王町 10 番 25 号
電話番号	019-654-6269
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/sannnouheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：施設運営の体制について工夫が見られる。各事業についても、職員が事務局となり事業を展開している。センターと福祉推進会などの地域組織との地域行事については、地域住民の協力を得ながら事業を行っている。</p> <p>城東中学校の生徒が施設の行事にお手伝いとして参加している。餅つき会のジュニアリーダー、年3回の地区清掃、スノーバスターの除雪活動に積極的に参加している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。世代間交流事業として、餅つき会の後にカルタ、ダーツ、そのほか昔の遊びを楽しんでいる。その他、チャリティフェスティバル、リサイクルバザー、芸能祭りも行っている。</p> <p>S：利用者の満足度把握に工夫が見られる。平成25年度から実施している「モニタリング調査」での満足度の把握の他に、独自で利用者に対して「不満足度調査」を実施している。あえて不満を聞くことで利用者の本当の意識を探るものである。多くの意見が寄せられ、施設運営の改善に繋げている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>利用者満足度の把握の方法として、「不満足度調査」を実施していることが大きな特徴である。不満を主題において施設運営全般について調査を行っており、利用者の潜在的な不満を把握することに努めた点は大いに評価できる取り組みである。他の施設の参考事例ともなる取り組みであるとも言える。</p> <p>運営体制として、城東中学校と連携が図られており、イベント時の手援いは勿論、地区の清掃・除雪作業にも協力体制を取っている。取り組みの継続を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>施設独自で「不満足度調査」を実施しており、施設運営に役立っている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。老人福祉センターとしては、年間8回の主催講座を行っている。</p> <p>事業の作業などのお手伝いとして、住民や利用者に対して無理やり呼びかけなくとも、自然と集まってくる。自分たちの集まる場所という意識があり、非常に助かっている。</p> <p>施設は2階部分にあり、2階部分で児童センターとシェアしている状況であり、手狭な印象を受けた。</p>	

施設名	山王児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市山王町 10 番 25 号
電話番号	019-654-6269
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/sannnouheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：施設運営の体制について工夫が見られる。各事業についても、職員が事務局となり事業を展開している。センターと福祉推進会などの地域組織との地域行事については、地域住民の協力を得ながら事業を行っている。</p> <p>城東中学校の生徒が施設の行事にお手伝いとして参加している。餅つき会のジュニアリーダー、年3回の地区清掃、スノーバスターの除雪活動に積極的に参加している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。世代間交流事業として、餅つき会の後にカルタ、ダーツ、そのほか昔の遊びを楽しんでいる。その他、チャリティフェスティバル、リサイクルバザー、芸能祭りも行っている。</p> <p>S：利用者の満足度把握に工夫が見られる。平成25年度から実施している「モニタリング調査」での満足度の把握の他に、独自で利用者に対して「不満足度調査」を実施している。あえて不満を聞くことで利用者の本当の意識を探るものである。多くの意見が寄せられ、施設運営の改善に繋げている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>利用者満足度の把握の方法として、「不満足調査」を実施していることが大きな特徴である。不満を主題において施設運営全般について調査を行っており、利用者の潜在的な不満を把握することに努めた点は大いに評価できる取り組みである。他の施設の参考事例ともなる取り組みであるとも言える。</p> <p>運営体制として、城東中学校と連携が図られており、イベント時の手伝いは勿論、地区の清掃・除雪作業にも協力体制を取っている。取り組みの継続を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足度の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p> <p>施設独自で「不満足度調査」を実施しており、施設運営に役立っている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。児童センターとしては、毎月の事業を行っている。施設が小さいので部屋ごとに使用時間を区切っている。小学校との連携として、発達障がいなどの児童についての情報交換などを緊密にしている。</p> <p>事業の作業などのお手伝いとして、住民や利用者に対して無理やり呼びかけなくても、自然と集まってくる。自分たちの集まる場所という意識があり、非常に助かっている。</p> <p>施設は2階部分にあり、2階部分で老人福祉センターとシェアしている状況であり、手狭な印象を受けた。</p>	

施設名	桜城老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市大通三丁目8番18号
電話番号	0 19-653-6211
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/sakuragiheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：毎月1回児童センターと老人福祉センター合同で避難訓練を実施している。その他、福祉推進会と協働で地区での防災活動に積極的に取り組んでいる。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。特にシルバーメイト活動は今年度で10周年を迎え、毎週木曜日の午後の「木曜クラブ」は好評の取り組みとなっている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。老人福祉センターの講座や活動は福祉推進会の目標に沿って計画を立てている。新しい利用者を増やす取り組みとして、ヨガ教室などを開催している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>地区福祉推進会と協働で事業の計画づくりを行っていることが特徴である。</p> <p>また、シルバーメイト事業が積極的に行われている地域であり、今年度で10周年を迎え、さらなる活動の発展を期待したい。</p> <p>自主事業についても、地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。桜城地区の福祉推進会は範囲が広いが、事務局長である施設長が取りまとめを行い、協力体制が構築されている。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。シルバーメイトや福祉推進会の活動が活発である。</p> <p>施設は地域の活動の拠点になっている。利用者が使いやすい雰囲気づくりを心がけている。若い世代の利用者を増やす取り組みとして、ヨガ教室やさんさ踊りの練習などの利用でわずかに増加している</p>	

施設名	桜城児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市大通三丁目 8 番 18 号
電話番号	019-653-6211
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/sakuragiheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：毎月 1 回児童センターと老人福祉センター合同で避難訓練を実施している。その他、福祉推進会と協働で地区での防災活動に積極的に取り組んでいる。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。幼児を持つ親が集まる「もくもく広場」を行っているが、市内の同様の施設や集まりに参加者が流れている現状があるが、長く実施している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。児童センターは月 1 回ペースで行事が展開されており、子供の要望に合わせた事業を行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>地区福祉推進会と協働で事業の計画づくりを行っていることが特徴である。</p> <p>自主事業についても、地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。桜城地区の福祉推進会は範囲が広いが、事務局長である施設長が取りまとめを行い、協力体制が構築されている。</p> <p>桜城小学校との連携も図られており、桜城小教諭と連絡会を年 3 回行っており、利用児童の状況について報告し合っていることも特徴である。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。桜城小学校との連携も十分に図られている。</p> <p>施設は地域の活動の拠点になっている。利用者が使いやすい雰囲気づくりを心がけている。街中の施設であるが、併設している桜城小学校の敷地の一部を駐車場として利用している。</p>	

施設名	山岸老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市下米内一丁目3番18号
電話番号	019-625-3601
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/yamagisiheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。世代間交流として、GBM(ジジ・ババ・孫)の交流会を組織している。山岸小の高学年と下小路中生が参加するロードレース大会も実施している。じゃが根の会という活動もあり、地域の畑でじゃがいもと大根を栽培、その後調理、食事会を行うことを行っている。子供と地域の人が交流する機会になっている。餅つき大会や小正月、ひな祭りなどでも子供とお年寄りが交流している。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。年度毎に事業計画を立てて、計画に沿って実施している。今年度はここまでは計画通りにできている。</p> <p>AA：目標の設定に工夫が見られる。事業計画にある運営方針と運営の重点が目標に当たる。具体的な数値目標を立てていないが、各事業や取り組み毎に目的を決めて活動している。職員にはその目標を達成できるように伝えている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に近隣に中津川があり自然学習をするなど周辺環境を上手く活用した取り組みを行っている。また、世代間交流にも力を入れており、世代間交流として、GBM(ジジ・ババ・孫)の交流会を組織し、スポーツ大会を実施するなど精力的に活動を行っていることが特徴であり、今後も活動の継続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋</p> <p>施設長から、「制度の問題であるが、職員は5年で辞めないといけないので、せっかく育った職員が辞めることになり、非常にもったいない」という意見があった。</p> <p>施設の老朽化が課題である。灯油タンクが老朽化し消防からも指摘があったことから対応が求められる。</p>	

施設名	山岸児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市下米内一丁目3番18号
電話番号	019-625-3601
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/yamagisiheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。世代間交流として、GBM(ジジ・パパ・孫)の交流会を組織している。山岸小の高学年と下小路中生が参加するロードレース大会も実施している。じゃが根の会という活動もあり、地域の畑でじゃがいもと大根を栽培、その後調理、食事会を行うことを行っている。子供と地域の人が交流する機会になっている。餅つき大会や小正月、ひな祭りなどでも子供とお年寄りが交流している。利用児童対象の事業としては、中津川を活用した取り組みとして、ゴミ拾い、夏は水浴びと散歩などの活動を行っている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。年度毎に事業計画を立てて、計画に沿って実施している。今年度はここまでは計画通りにできている。</p> <p>AA：目標の設定に工夫が見られる。事業計画にある運営方針と運営の重点が目標に当たる。具体的な数値目標を立てていないが、各事業や取り組み毎に目的を決めて活動している。職員にはその目標を達成できるように伝えている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に近隣に中津川があり自然学習をするなど周辺環境を上手く活用した取り組みを行っている。また、世代間交流にも力を入れており、世代間交流として、GBM(ジジ・パパ・孫)の交流会を組織し、スポーツ大会を実施するなど精力的に活動を行っていることが特徴であり、今後も活動の継続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋</p> <p>施設長から、「制度の問題であるが、職員は5年で辞めないといけないので、せっかく育った職員が辞めることになり、非常にもったいない」という意見があった。</p> <p>施設の老朽化が課題である。灯油タンクが老朽化し消防からも指摘があった。また、遊具が昔の基準のため使用できないということもある。</p> <p>児童センター一部分の屋根のさびが目立っているので塗り直してほしいことであった。</p>	

施設名	上田老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市上田四丁目 5 番 18 号
電話番号	019-623-0092
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/uetahaisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。特に岩手大学生との交流を行っている。各種事業に学生が参加することもある。また、施設の掃除などでお年寄りと交流している。福祉推進会としては岩手大学と協働しており、上田地区の活性化について協議を行っているところである。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。センター主催の行事の企画検討に当たっては、行事参加者が大勢集まるよう意識して企画している。年代によって参加しやすい日程があるので、その調整も行っている。</p> <p>AA：利用の申し込み方法が適切に行われている。2か月前から仮予約を受け付けている。利用者会議で年間の利用日程を話し合っており、おおよその利用スケジュールを作成している。トラブルは起きていない。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に岩手大学との交流が盛んでイベントや清掃活動で協力体制を築いている。また福祉推進会では岩手大学との協議も進められており、上田地域のまちづくりについても発展の可能性のある大学と施設の協働の体制をより強めていき、新たなまちづくり活動を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>特に岩手大学との交流が盛んでイベントや清掃活動で協力体制を築いている。また福祉推進会では岩手大学との協議も進められており、上田地域のまちづくりについても発展の可能性がある。</p>	

施設名	上田児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市上田四丁目 5 番 18 号
電話番号	019-623-0092
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/uetahisetsu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。特に岩手大学生との交流を行っている。各種事業に学生が参加することもある。また、施設の掃除などでお年寄りと交流している。福祉推進会としては岩手大学と協働しており、上田地区の活性化について協議を行っているところである。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。センター主催の行事の企画検討に当たっては、行事参加者が大勢集まるよう意識して企画している。年代によって参加しやすい日程があるので、その調整も行っている。</p> <p>AA：施設の維持管理が適切に行われている。職員が毎朝見回り、清掃と清掃を行っている。利用者も利用後に掃除する様お願いしている。外回りは近隣の住民が手伝ってくれる。雪かきはアパートの大学生が手伝ってくれている。年2回利用団体の人と一緒に大掃除を行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に岩手大学との交流が盛んでイベントや清掃活動で協力体制を築いている。また福祉推進会では岩手大学との協議も進められており、上田地域のまちづくりについても発展の可能性がある大学と施設の協働の体制をより強めていき、新たなまちづくり活動を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>特に岩手大学との交流が盛んでイベントや清掃活動で協力体制を築いている。また福祉推進会では岩手大学との協議も進められており、上田地域のまちづくりについても発展の可能性がある。</p> <p>児童センターとしては、上田小学校と連携し、子供の対応方法などで協力している。特に現施設長補佐が前上田中学校ということもあり、学校との連携が図りやすい状況にある。</p>	

施設名	大慈寺老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市茶畑二丁目 16 番 20 号
電話番号	019-623-0218
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/daijijiheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。老人福祉センター及び児童センターのどちらも事業計画に工夫をしている。老人福祉センターの場合、旧来の文化的な講座よりも現在の高齢者（団塊の世代）が興味のある「健康」、「スポーツ」、「ガーデニング」などの講座を行い、利用者増を目指している。健康講座では川久保病院と連携した事業を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。イベントとしては、焼き芋会、小正月はミズキ団子と餅つき、年末は年縄づくり、夏は流しそうめんといった事業を展開しており、世代間交流や地域間交流に力を入れている。老人福祉センターとしては、健康、スポーツ、ガーデニングなどの現在の高齢者の嗜好に合わせて事業を行っている。</p> <p>AA：近隣住民から苦情があったが適切に処理されている。植栽の枝打ちや伐採に対して「枝打ちや伐採が下手だ」など苦情があった。アメリカシロヒトリが大量発生したことへの対策であったことを説明し、伐採の知識がある人がいれば手伝ってほしいということも伝えた。焼き芋会を実施していて近隣の住宅から「洗濯物に煤やにおいがついた」と苦情があった。その後は町内会の広報車で焼き芋会開催のお知らせをすることとした。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に、焼き芋会、小正月のミズキ団子と餅つき、年末の年縄づくり、夏の流しそうめんの事業は施設独自の事業と地域に根付いている。</p> <p>老人福祉センターは、主催講座を現在の高齢者の嗜好に合わせた企画としていることが特徴で、創意工夫が見られる。老人福祉センターの利用者増のための事業計画づくりとして、他施設も参考となる取り組み事例であり、今後もさらなる発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>老人福祉センターは、主催講座を現在の高齢者の嗜好に合わせた企画としていることが特徴である。地域に根付いたイベントを実施しており、地域の密着度は高い施設と言える。様々な行事に地域の方も参加して頂き、協力体制が築けている。</p> <p>遊戯室の内装のはがれと、園庭に傾斜があり雨天時には敷地外へ雨水が流出することがあるので改善したいという意見があった。</p>	

施設名	大慈寺児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市茶畑二丁目 16 番 20 号
電話番号	019-623-0218
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/daijijiheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事業計画に創意工夫が見られる。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。老人福祉センター及び児童センターのどちらも事業計画に工夫をしている。児童センターでは児童厚生員が工夫し、県立大学の学生を招いて「ダブルダッチ」の講座を開設するなどの工夫を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。イベントとしては、焼き芋会、小正月はミズキ団子と餅つき、年末は年縋づくり、夏は流しそうめんといった事業を展開しており、世代間交流や地域間交流に力を入れている。児童センターは肴町商店街の七夕の飾り付けを行っている。地区の住民から孟宗竹をもらい、短冊などを飾り付けている。</p> <p>AA：近隣住民から苦情があったが適切に処理されている。植栽の枝打ちや伐採に対して「枝打ちや伐採が下手だ」など苦情があった。アメリカシロヒトリが大量発生したことへの対策であったことを説明し、伐採の知識がある人がいれば手伝ってほしいということも伝えた。</p> <p>焼き芋会を実施していて近隣の住宅から「洗濯物に煤やにおいがついた」と苦情があった。その後は町内会の広報車で焼き芋会開催のお知らせをすることとした。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に、焼き芋会、小正月のミズキ団子と餅つき、年末の年縋づくり、夏の流しそうめんの事業は施設独自の事業と地域に根付いている。</p> <p>児童センターは、県立大学生と連携した事業を展開するなどの工夫が見られる。子供の嗜好に合わせた取り組みの持続発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>児童センターは、県立大学生と連携した事業を展開するなどの工夫が見られる。</p> <p>地域に根付いたイベントを実施しており、地域の密着度は高い施設と言える。様々な行事に地域の方も参加して頂き、協力体制が築けている。</p> <p>遊戯室の内装のはがれと、園庭に傾斜があり雨天時には敷地外へ雨水が流出することがあるので改善したいという意見があった。</p> <p>市街地にあるセンターとしては園庭が広いので、利用する子供達も屋外で遊ぶことができることも特徴である。</p>	

施設名	下太田老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市下太田 14 番地 22
電話番号	019-658-0681
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/simootaheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員全員で毎日朝と夕方に実施している。行事の時には親も参加してくれている。日々の見回りと点検を行っている。遊具などの器具も点検している。</p> <p>特に、事故予防のため机などの角に発泡スチロールを貼るなどの対策をとっていることが特徴である。利用者や母親クラブが障子の張り替え(2年に1回)、花壇の手入れ(毎年春頃)をしてくれている。</p> <p>AA：自主事業に工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。今後、他の施設で行われている事業を参考とし、地域ならではの独自性のある事業実施をより一層期待したい。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。太田老人福祉センター、太田地区活動センターと情報交換・連携し活動していて、太田地区全体で老人福祉の活動に取り組んでいる。世代間交流行事の開催として、もちつき会などを開催し、利用者や親子だけでなく近隣のデイサービス施設や保育園からの来場者もあり、他施設との連携が図られている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。</p> <p>その際には、他の施設で行われている事業が参考になることから、事業団本部のスケールメリットを生かし参考事例を紹介するなどの取り組みが期待される。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋</p> <p>施設の利用は児童センター、老人福祉センターの枠で区切らずに空いている時間はどの部屋も使えるようにしている。</p> <p>駐車場は本来4台分位のスペースであるが、隣の保育園の駐車場を使わせてもらっている。</p> <p>下太田地区は人口が増加している地域であるので、周辺環境も年々変化しており、施設周辺の交通安全対策の必要性を感じる。</p>	

施設名	下太田児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市下太田榊 14 番地 22
電話番号	019-658-0681
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/simootaheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員全員で毎日朝と夕方に実施している。行事の時には親も参加してくれている。日々の見回りと点検を行っている。遊具などの器具も点検している。</p> <p>特に、事故予防のため机などの角に発泡スチロールを貼るなどの対策をとっていることが特徴である。利用者や母親クラブが障子の張り替え(2年に1回)、花壇の手入れ(毎年春頃)をしてくれている。</p> <p>AA：自主事業に工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。今後、他の施設で行われている事業を参考とし、地域ならではの独自性のある事業実施をより一層期待したい。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。太田老人福祉センター、太田地区活動センターと情報交換・連携し活動していて、太田地区全体で老人福祉の活動に取り組んでいる。世代間交流行事の開催として、もちつき会などを開催し、利用者や親子だけでなく近隣のデイサービス施設や保育園からの来場者もあり、他施設との連携が図られている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。</p> <p>その際には、他の施設で行われている事業が参考になることから、事業団本部のスケールメリットを生かし参考事例を紹介するなどの取り組みが期待される。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項(調査員のコメント)からの抜粋</p> <p>施設の利用は児童センター、老人福祉センターの枠で区切らずに空いている時間はどの部屋も使えるようにしている。</p> <p>母親クラブとの関係は良好であり、行事などを開催した時には手伝ってもらいとても助かっている。利用している児童について扱いの難しい子供は事業団の派遣するカウンセラーに相談して対応している。厚生員には子供の様子を日報に書いてもらっている。</p> <p>小学校との関係も良好である。長期休業時には学校の先生も子供の様子を見学に来る。PTAの集まりに施設長が参加している。太田地区は人口が増加している地域であるので、周辺環境も年々変化しており、施設周辺の交通安全対策の必要性を感じる。</p>	

施設名	緑が丘老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市緑が丘三丁目 19 番 18 号
電話番号	019-661-8236
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/midorigaokaheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。合築館のため子供とお年寄りと交流する機会が多い。正月のもちつき、10月のセンターまつり、クリスマス会などである。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。厚生員は児童センター業務担当のように各担当で役割を持って実施している。イベントの企画運営や人員手配も同様に分担している。</p> <p>AA：申込み方法は適切に行っている。事前申込みの受け付けや手順など適切に行われている。年間の利用は利用者会議で検討し決めている。利用申込みは毎月 20 日までにしてもらうようお願いしている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。</p> <p>来年の施設の 30 周年に向けて記念誌の作成を進めているということなので、その記念誌発行に合わせた新たな企画の実施を行い、より地域に密着した施設となることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだ事業を行っている。</p> <p>施設が地域の中心となり活動を実施している。</p> <p>園庭の砂場を使って野菜作りにチャレンジしたこともあり、今後も新しい事業の実施に期待したい。</p> <p>来年の施設の 30 周年に向けて記念誌の作成を進めていることもあり、さらなる発展が見込まれる。</p>	

施設名	緑が丘児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市緑が丘三丁目 19 番 18 号
電話番号	019-661-8236
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/midorigaokaheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。合築館のため子供とお年寄りと交流する機会が多い。正月のもちつき、10月のセンターまつり、クリスマス会などである。児童センターでは、厚生員の得意分野を活かした取り組みが多彩であり、夏休み工作や1月の鬼の面づくりなどを行っている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。児童センター利用の子供の登録は120名で日々の利用は60～80名。利用が増える傾向にあり職員の目が行き届かないことも予想される。このため1～3年生までは全員受け入れるが、4年生以上は親御さんと相談の上受け付けている。お迎えは規定の18時までに来るよう親に呼び掛けている。</p> <p>AA：申込み方法は適切に行っている。事前申込みの受け付けや手順など適切に行われている。年間の利用は利用者会議で検討し決めている。利用申込みは毎月20日までにしてもらうようお願いしている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。</p> <p>来年の施設の30周年に向けて記念誌の作成を進めているということなので、その記念誌発行に合わせた新たな企画の実施を行い、より地域に密着した施設となることを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだ事業を行っている。</p> <p>施設が地域の中心となり活動を実施している。</p> <p>小学校との連携を行っている。子供の扱いについての相談をお互いに行っている。小学校に体調の良い子供はセンターを休むように伝えてほしいとお願いしている。</p> <p>来年の施設の30周年に向けて記念誌の作成を進めていることもあり、さらなる発展が見込まれる。</p>	

施設名	上米内老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市桜台二丁目 18 番 5 号
電話番号	019-667-1271
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kamiyonaiheisetu/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。主催講座は年 12 回中 6 回を施設が主催して行っている。他は福祉推進会などが主催している。「ゆうあい訪問」という事業を行っており、小中学生が地区内の独居住宅へ行き掃除などのお手伝いをしている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。</p> <p>AA：防災の取り組みを適切に行っている。毎月 1 回児童センターと老人福祉センター合同で避難訓練を実施している。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。地域住民から地域内全域対象の避難訓練をやってほしいとお願いされることもあった。地域独自で小中学校、消防団、施設の災害時用具を見て回りデータとして残した。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に、米内地区は高齢者の見守り対策や防災対策に力を入れており、福祉推進会と協働で小中学生が地区内の独居住宅へ行き、掃除などのお手伝いをする活動や、地域の施設の防災設備のチェック活動も行っている。米内地区（特に施設周辺の桜台団地）は、独居の高齢者が増加することが見込まれる地域であり、地域の小中学生を巻き込んだ見回り活動は、評価すべき取り組みである。</p> <p>今後も活動の発展継続を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>特に、高齢者の見守り対策や防災対策に力を入れており、これからの社会問題（独居高齢者の増加）も見据えた取り組みとして、継続を期待したい。</p>	

施設名	上米内児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市桜台二丁目 18 番 5 号
電話番号	019-667-1271
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/kamiyonaiheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。「ゆうあい訪問」という事業を行っており、小中学生が地区内の独居住宅へ行き掃除などのお手伝いをしている。また「風の子会」という事業も行っており、金曜日の午前中に未就学の子供とその親が集まる会である。みんなで遊び、子育て相談などをしてお昼を食べて解散する。地域外からの参加もある。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。</p> <p>AA：防災の取り組みを適切に行っている。毎月1回児童センターと老人福祉センター合同で避難訓練を実施している。施設内の各部屋には避難経路図を掲示している。防災や緊急時のマニュアルや緊急連絡網を完備している。地域住民から地域内全域対象の避難訓練をやってほしいとお願いされることもあった。地域独自で小中学校、消防団、施設の災害時用具を見て回りデータとして残した。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。特に、米内地区は高齢者の見守り対策や防災対策に力を入れており、福祉推進会と協働で小中学生が地区内の独居住宅へ行き、掃除などのお手伝いをする活動や、地域の施設の防災設備のチェック活動も行っている。米内地区（特に施設周辺の桜台団地）は、独居の高齢者が増加することが見込まれる地域であり、地域の小中学生を巻き込んだ見回り活動は、評価すべき取り組みである。</p> <p>今後も活動の発展継続を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>小学校とのやり取りを行っている。問題のある子供や不審者・熊出没情報などの情報交換をしている。</p> <p>施設と米内小学校の距離が離れているので、施設へのルートが夜間暗いということであった。また、熊の出没情報もあり、鈴を設置するなどの対策を行っている。</p>	

施設名	世代交流センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市西見前 13-25-3
電話番号	019-639-0350
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/mirumaesedaiheisetu/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。室内テニス・ゲートボール場を活かし、テニス大会やゲートボール大会を実施。フラワーアレンジメントやガーデニングなどの教室も行っている。年末年始のしめ縄作りやミズキ団子作りは世代間交流の場になっている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。</p> <p>AA：補修・修繕・清掃を適切に行っている。清掃は職員全員で毎日実施している。行事の時には親も参加してくれている。日々の見回りと点検を行っている。遊具などの器具も点検している。周辺清掃は年3回ほど地域住民の方にも参加してもらい実施している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。見前地区は、行事や地域活動への参加者が多いという特徴があり、各種事業をボランティアとして参加する地域住民と連携して取り組んでいる。この地域のまとまりを大切に、地域の住民通しの世代間交流を行う事業を実施していくことを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。見前地区は、行事や地域活動への参加者が多いという特徴がある。それだけ地域密着度が高い地域であると言える。</p> <p>これから建設が始まる予定である「東見前公民館」との連携により、より活動が活発になることを期待したい。</p> <p>施設の特徴として、グラウンドが広いということが揚げられる。</p>	

施設名	見前児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市西見前 13-25-3
電話番号	019-639-0350
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/mirumaesedaiheisetu/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。室内テニス・ゲートボール場を活かし、テニス大会やゲートボール大会を実施。フラワーアレンジメントやガーデニングなどの教室も行っている。年末年始のしめ縄作りやミズキ団子作りは世代間交流の場になっている。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。180回の教室をこなすのは大変であるが、工夫して実施している。「プレイクラブ」といういろいろな遊びを楽しめる教室を設けている。</p> <p>AA：職員は適正に配置されている。各事業についても、職員が事務局となり事業を展開している。センターと福祉推進会などの地域組織との地域行事については、地域住民の協力を得ながら事業を行っている。イベントや行事は母親クラブや地域住民にもお手伝いをお願いしている。少ない職員で多くの子供の面倒の対応を行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>見前児童センターは、利用児童数が多い施設である。現状の職員配置では、利用児童に対して十分な対応が出来ないので、職員増員の依頼をしているということであった。</p> <p>児童福祉施設においては、適正規模の職員配置計画（何人の児童に対して何人の職員が対応する）というものが整備されていないということであったので、配置計画のマニュアルを作成するなど、増加する利用児童への適正な対応が求められる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>見前地区は、行事や地域活動への参加者が多いという特徴がある。それだけ地域密着度が高い地域であると言える。</p> <p>施設として「子供が楽しく遊べる場」、「しつけの場」、「人間形成の場」という位置づけで運営を行っているということであった。また、子供に対しては、各家庭以上に良いことは誉める、悪いことは叱るように心がけているということであった。</p>	

施設名	津志田児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市津志田中央二丁目 11 番 1 号
電話番号	019-637-3955
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/tusidajidou/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：基本方針の周知、理解に工夫が見られる。年次の事業計画書に運営方針及び運営の重点が記載してある。計画策定時には職員で運営方針と運営の重点を確認して計画を立案している。職員間でも月 1 回の職員会議で情報共有している。</p> <p>また、施設独自に作成した施設運営マニュアルを各職員が持っている。職員会議などで読み合わせを行い随時確認しているこのマニュアルは津志田児童センター独自の取り組みと言える。</p> <p>S：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員で毎日行っている。施設の見回りも毎日実施している。日々の見回りと点検を行っている。遊具などの器具も点検している。年 2 回母親クラブに頼んで除草や花壇整備をしてもらっている。</p> <p>また、地域住民から種や苗を提供してもらい、花壇整備などの環境美化に努めている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会与共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。地元の「津志田いも」を活かして伝統料理や地域の歴史を知ってもらう行事を開催している。10 年以上前から行っている。施設の開館時間が夜 7 時までで、他の児童センターと比べて長く開館している。共働きの親御さんが多いので利用者も喜んでいる。福祉推進会の事務局も担っているのでお年寄りと交流できる行事も企画・実施している。編み物教室などではお年寄りが先生になったりしている。親子ハイキングなども企画実施している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。周辺の高齢者施設と交流活動をしている。週 1 回、1 時間程度。地域の子供とお年寄りの交流の機会をなくさないように努めている。このような世代間交流事業は今後も持続発展することを期待したい。利用児童数が多いので、適正規模の職員配置計画の作成が求められる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。夜 7 時まで開館している。市の指定で平成 22 年度から実施している。（市内では他に土淵、湯沢で実施）。周辺の高齢者施設との交流活動も行っている。支援学校の児童や支援が必要な児童の施設利用もある。</p> <p>子供の利用する時間にヒアリングだったこともあり、実際の利用状況を見たことで施設の狭小を体感した。この日は 80 人の利用だったが、多い日は 100 人以上になるという。職員配置計画の作成の必要性を感じた。</p>	

施設名	永井児童センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市永井 18 地割 28 番地 1
電話番号	019-637-3755
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/nagaijidou/
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：職員研修に工夫が見られる。事業団で主催の研修には、該当職員が全て参加している。研修参加後には復命書を作成し、各職員へ研修内容を周知している。夏休みなどの長期休みの前に通常職員、臨時職員みんなで昼食会を開き、忙しくなる休業期前に児童の対応方法を共有している。通常職員から臨時職員に教えることでお互いに研修の機会になっている。</p> <p>S：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。1日1回清掃している。水回りなどを職員が日替わりで分担して掃除している。除雪や草刈は近所のボランティアが行ってくれている。さんさ踊りの練習などでセンターを使っているお礼に行ってくれている。中学生のボランティア協力もある。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。園庭で飯盒炊爨、伝統さんさ踊り、クリスマス会などいろいろ。利用者以外の地域住民の参加もある。年2回夏冬の始業時期にお昼ごはんをセンター職員全員で作って子供に提供している。施設独自で連絡帳を作成し配布をしている。家庭とのやり取りや児童の様子を教え合うことに役立っている。教育相談窓口を設けている。親御さんの教育や家庭の悩みなどの相談を受けてストレスの軽減、問題の早期解決に役立っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。また、職員の意識・スキルがとても高いことが伺えた。ただ子供を預かるだけではなく、子供の命を預かっているという気持ちで臨んでいるということであった。子供の言動を良く見て、必要に応じて施設長や家庭に伝えているなどを行っている。また、施設長が元永井小学校校長ということもあり、学校との連携が密に取り、地域で子供を育てるという意識の高さがある。このような地域一体となった子供に対する取り組みは評価すべきものであり、さらなる発展を期待したい。</p> <p>また、利用児童数が多いので、適正規模の職員配置計画の作成が求められる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。地域の中学生在イベント時にはボランティアとして参加してくれる。冬休みに2回ほど中学生が雪かきを手伝ってくれる。</p> <p>サッカー教室には盛岡のプロサッカーチームの選手が教えに来ている。</p> <p>職員お手製の飾り付けが目楽しい。月替わりで飾り付けをつくって飾っている。</p> <p>子供の数が多く施設が手狭な印象がある。</p>	

施設名	巻掘児童館
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会
所在地	岩手県盛岡市玉山区巻掘字巻掘 101-1
電話番号	019-682-0228
ホームページ	http://www.morioka-shakyo.or.jp/06sise.html
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員全員で毎日朝と夕方に実施している。イベントの際は親も参加してくれている。年2回程、保護者と一緒に周辺環境（館庭、樹木、砂利敷き）の手入れをしている。老人クラブも年2回草刈りを行っている。</p> <p>S：管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。活動結果は反省コメントなども付けてまとめている。その結果は、職員会議で情報共有している。また、毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。老人クラブとの連携が強く、世代間の交流に力を入れている。運動会、生活発表会、もちつき会、節分などを地域住民と一緒に開催していることが特徴である。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p> <p>自主事業についても、運動会、生活発表会、もちつき会、節分などを地域住民と一緒に開催していることが特徴である。これらの取り組みは今後も継続発展することを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。個別事業についてもアンケートを実施しており、意見の把握に努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>地域密着度も高く、施設のイベント（運動会等）には地域住民も参加し行われている。地域としてまとまりがあるから行われる事例である。</p> <p>小学校との連携も図られており、利用児童の状況について情報共有を行い、対応も行われている。</p>	

施設名	日戸児童館
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会
所在地	岩手県盛岡市玉山区日戸字市ノ坪 25-1
電話番号	019-685-2433
ホームページ	http://www.morioka-shakyo.or.jp/06sise.html
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。活動結果は反省コメントなども付けてまとめている。その結果は、職員会議で情報共有している。また、毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。各月、季節に応じたイベントを実施している。世代間交流として、夏まつりやグランドゴルフ大会やもちつき体験を行っている。高齢者と子供の双方にとって良い企画となっている。他にも盛岡中央高校のアイスホッケー部が先生役となったスケート教室も開催されている。</p> <p>AA：管理運営全般の目標の設定に工夫が見られる。事業計画にある運営方針と運営の重点が目標にあたる。施設としては、毎月の行事計画を作成し、その中に各月の活動目標を掲げ、年間通しての幼児児童の健全育成に努めている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p> <p>自主事業についても、世代間交流として、夏まつりやグランドゴルフ大会やもちつき体験を行っている。高齢者と子供の双方にとって良い企画となっている。他にも盛岡中央高校のアイスホッケー部が先生役となったスケート教室も開催されている。これらの取り組みは今後も継続発展することを期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。個別事業についてもアンケートを実施しており、意見の把握に努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>近隣に玉山小学校と玉山中学校がある。小学校とは利用児童の情報交換を行っている。中学校とはイベント時のお手伝いボランティアとしての協力がある。世代間交流を目的とした事業も好評であり、特に高齢者夫婦のみの世帯も増加しており、子供と触れあう機会があること自体が、高齢者にとっては楽しみのお手頃である。</p> <p>比較的まとまった集落であるため、地域内の連携もよく「地域みんなの施設」ということで重宝されていることが印象的である。</p>	

施設名	好摩児童館
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会
所在地	岩手県盛岡市玉山区好摩字野中 69-85
電話番号	019-682-0208
ホームページ	http://www.morioka-shakyo.or.jp/06sise.html
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：事故発生の対応に工夫が見られる。事故の発生は無い。事故発生時の対応策は用意して職員にも周知している。もし事故が発生した場合は、社教へ連絡するなどの体制も整っている。</p> <p>施設内及び施設周辺の安全点検も行っており、隣的好摩保育園と連携した安心安全対策も行うことが特徴である。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。各月、季節に応じたイベントを実施している。好摩公民館で劇団を招いての演劇鑑賞会、児童館での映画上映会、好摩地区を廻るナイトウォークラリーなど工夫を凝らした事業を展開している。各イベントは父母や地域住民と連携して行っている。</p> <p>S：管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。活動結果は反省コメントなども付けてまとめている。その結果は、職員会議で情報共有している。また、毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。好摩児童館の周辺には好摩公民館や好摩保育園があることから、これらの施設と上手く連携して事業等を行っていることが特徴である。イベント時での連携は勿論、防犯等の安心安全対策は周辺施設全体で行っている。今後もこの体制で実施することで、あらゆる世代を対象とした事業が展開できることが見込まれる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。個別事業についてもアンケートを実施しており、意見の把握に努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>好摩児童館は、周辺に好摩公民館や好摩保育園があり、それら施設とも連携が図られており、特にイベントでの協力や施設管理（清掃などの安全対策）での協力を行っていることが特徴である。好摩小学校との連携も図られている。</p> <p>利用児童とは、「気持ちの良いあいさつ」、「目上の人の態度に気をつける」、「人の話をきちんと聞く」ということを徹底させており、地域ぐるみで子供の育成に取り組んでいることが印象的であった。</p>	

施設名	渋民児童館
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会
所在地	岩手県盛岡市玉山区渋民字鶴塚 103
電話番号	019-683-3020
ホームページ	http://www.morioka-shakyo.or.jp/06sise.html
施設の概要	児童福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：管理運営全般の目標と評価に工夫が見られる。自主事業に関しては、実施報告書で反省内容を記載している。活動結果は反省コメントなども付けてまとめている。その結果は、職員会議で情報共有している。また、毎月の行事計画の活動目標と活動結果（反省点やコメント）をセットとし、次年度の計画策定の参考にしており、工夫が見られる。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。各月、季節に応じたイベントを実施している。親子夏祭り（保護者の出店もあり）、グランドゴルフ大会、もちつき大会、そばもちづくりなどを実施している。地域を巡るウォークラリーも実施しており、好評の企画となっている。利用児童数が多いため、6年生がリーダーとなり下級生を指導することも行っており、利用児童の中での役割を設けて、育成に取り組んでいることが大きな特徴である。</p> <p>AA：管理運営全般の目標の設定に工夫が見られる。事業計画にある運営方針と運営の重点が目標にあたる。施設としては、毎月の行事計画を作成し、その中に各月の活動目標を掲げ、年間通しての幼児児童の健全育成に努めている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。利用児童数（登録児童数 160 名）が多いため、6年生がリーダーとなり下級生を指導することも行っており、利用児童の中での役割を設けて、育成に取り組んでいることが大きな特徴である。この取り組みは利用児童が多い児童福祉施設において参考となる事例となる。継続して取り組みと行うことを期待したい。</p> <p>また、登録児童数が多い施設であり、現状の職員体制では対応が不十分であり、適正な職員配置計画の検討が必要である。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、保護者からも感想等を聞くことに努めている。個別事業についてもアンケートを実施しており、意見の把握に努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。渋民小学校との連携も図れており、情報交換や地域での子育てについて意見交換を行っている。利用児童数が多い（登録児童数 160 名）であり、現状の職員では十分に対応できない場合もある。児童館としての職員の適正配置基準のようなものがあるとよいという意見を頂いた。盛岡市の盛南地区でも同様の意見があり、職員適正配置については何らかの基準を設ける必要があると感じた。</p>	

施設名	乙部老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市乙部 28 地割 34 番 5 号
電話番号	019-696-1125
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/otoberou/
施設の概要	高齢者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>AA：自主事業に工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。今後、他の施設で行われている事業を参考とし、地域ならではの独自性のある事業実施をより一層期待したい。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。</p> <p>AA：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員全員で実施している。月に2回程地域住民にも協力して頂いて清掃を行っている。年に3回程地域の老人クラブの方に協力して頂き、草刈りを行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。施設長としては、今後、サークルや地域活動の発表会を積極的に行っていきたいという考えであった。また、地域の伝統芸能（鹿踊りや乙部さんさ踊り）の発表を行いたいということであった。市内の他の類似施設に比べて、施設運営や福祉推進会の活動への地域住民の協力が薄い印象があり、他の施設で行われている地域を巻き込んだイベントを参考として、今後さらなる活動発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>当施設が事務局となっている乙部地区福祉推進会の管轄は、大ケ生地区、乙部地区、手代森地区、黒川地区の4地区で広範囲となっており、各地域間の調整が難しい地区ということであった。</p> <p>施設は平成 17 年に建てられた比較的新しい施設であり、綺麗である。</p>	

施設名	乙部運動広場
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市乙部 28 地割 34 番 5 号
電話番号	019-696-1125
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shisetsu/otoberou/
施設の概要	地区活動施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>AA：自主事業に工夫がみられる。地区福祉推進会と共催で各種の世代間交流イベントや地域間交流イベントを実施している。今後、他の施設で行われている事業を参考とし、地域ならではの独自性のある事業実施をより一層期待したい。</p> <p>AA：事業計画通りに事業が行われている。事業計画通りに事業が行われている。福祉推進会の活動を軸に住民間・世代間の交流などを図っている。</p> <p>AA：補修・修繕・清掃に工夫が見られる。清掃は職員全員で実施している。月に2回程地域住民にも協力して頂いて清掃を行っている。年に3回程地域の老人クラブの方に協力して頂き、草刈りを行っている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、共催で、地域住民を巻き込んだイベントを実施している。地域資源を活用した独自事業のさらなる発展を期待したい。施設長としては、今後、サークルや地域活動の発表会を積極的に行っていきたいという考えであった。また、地域の伝統芸能（鹿踊りや乙部さんさ踊り）の発表を行いたいということであった。市内の他の類似施設に比べて、施設運営や福祉推進会の活動への地域住民の協力が薄い印象があり、他の施設で行われている地域を巻き込んだイベントを参考として、今後さらなる活動発展を期待したい。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成 25 年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。また、利用者会議の場でも感想等を聞くことに努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>本施設は地区福祉推進会の事務局でもあり、地域住民を巻き込んだイベントを行っている。</p> <p>当施設が事務局となっている乙部地区福祉推進会の管轄は、大ケ生地区、乙部地区、手代森地区、黒川地区の4地区で広範囲となっており、各地域間の調整が難しい地区ということであった。</p> <p>施設は平成 17 年に建てられた比較的新しい施設であり、綺麗である。</p> <p>運動公園の施設は、旧乙部小学校の校舎とグラウンドとしている。老朽化が進んでいるが、地域の方に清掃をお願いしており、管理が行き届いている。</p>	

施設名	ひまわり学園 (児童発達支援センター)
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市前九年3丁目12-38
電話番号	019-646-3977
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/himawari/himawari/
施設の概要	障害者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修に工夫が見られる。園内研修を年3～4回実施している。その他、各種研修にも参加している。職員の専門性が必要とされる施設であるので、県外（東京など）の研修にも参加し新しい情報を得るような工夫を行っている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。季節に応じたイベントを実施しており、父母の協力で事業を行っている。盛岡市の支援学級の発表会に利用児童全員で参加し発表を行っている。保護者に対しても、授業参観を行い、施設での生活を見せている。</p> <p>S：利用者の要望・意見・苦情の把握を工夫している。年2回保護者会の全体会を開催し、意見徴収に努めている。日々のやり取りは送り迎えの際に行っている。連絡帳を作成しており、職員と保護者で利用児童の様子を話し合っている。意見要望解決委員会を年2回開催している。この会議は地域の方、保護者、職員が集まり、施設について意見を把握する場となっている。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>盛岡広域には唯一の障がい幼児の受け入れ施設である。利用のニーズは高いが定員の関係で受け入れを断っている状況である。施設長としては、今後、ひまわり学園の専門性を生かして、各地域の幼児施設に支援を行っていきたい考えはあるが、人的に余裕が無く難しい状況であるということであった。</p> <p>このように障がい児に対する社会のニーズは高まっており、今後は本施設の特性を生かし、施設の拡充や各地域への支援などを積極的に行い、ニーズに対応することが望まれる。</p> <p>また、母子通園事業を通じて、保健所と連携して、障がいの有無の早期発見と早期療育を行っている。この取り組みも継続していくことが望まれる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。</p> <p>保護者や地域住民からの意見要望の把握に積極的に努めている。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>当施設卒園後の進路については、保護者と話し合いを進め、利用幼児にあった進路（通常学校か支援学校か）を検討しているということであった。</p> <p>施設の印象としては、年齢層ごとに教室が分けられており、明るい印象の施設であった。</p> <p>職員の方も生き生きしており、楽しい施設づくりを心がけているようである。</p> <p>ウィルスなどの感染症対策も施されている。</p>	

施設名	しらたき工房 (障害者支援施設)
指定管理者	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団
所在地	岩手県盛岡市川目第15地割1番地6
電話番号	019-652-1120
ホームページ	http://www.morioka-fukushi.jp/shirataki/shirataki/
施設の概要	障害者福祉施設
<p>●管理運営の面で優れている点</p> <p>S：研修に工夫が見られる。施設内OJTは毎年1～3月中心に実施している。外部研修には積極的に参加しやすい環境を作っている。広い分野の専門的研修に関わることで、職員の資質向上や意欲の増進を狙いとしている。</p> <p>S：自主事業に創意工夫がみられる。各事業の他に季節に合わせた行事を展開している。月1回の開催をしている。</p> <p>S：施設の運営に対する利用者の関与について工夫が見られる。利用者で組織される「苦情委員会」や「自治会」がある。利用者の自立を促す狙いもあり、利用者から意見を聞き、事業の計画に反映させていることが特徴である。また、保護者会「しらたき会」も開催しており、保護者の意見も把握している。</p>	
<p>●今後に向けてより充実が期待される点</p> <p>本施設は、重度の障がい者を受け入れる施設であり、就労継続支援事業B型、生活介護事業、地域活動支援センターII型、日中一時支援事業を展開している。</p> <p>課題として、利用者の高齢化が掲げられる。また、利用者の保護者の高齢化も進んでいることから、共同生活援助事業が望まれる。利用者の高齢化は、作業効率の低下にも繋がっているが、今後は工賃を上げることも課題であり、農産物の育成と併用した食品加工などの新分野の開拓も望まれる。</p>	
<p>●利用者満足の把握について</p> <p>平成25年度から実施している「モニタリング調査」で満足度の把握を行っている。このモニタリング結果を施設運営により積極的に反映させることが必要である。</p> <p>その他、利用者で組織される「自治会」や「苦情委員会」、保護者会で把握を行っている。</p> <p>施設長からは、アンケートを実施にあたり、利用者の特性に配慮した分かりやすい調査内容が望まれるという意見があった。</p>	
<p>●その他、特記事項（調査員のコメント）からの抜粋</p> <p>現在は80名の利用者があるが、定員は充足されている。</p> <p>しらたき工房としては、盛岡市街にアンテナショップと併用した作業活動の場を設け、利用者が働く環境を整えたいという将来的な希望もある。</p> <p>障がい者が一人の成人として安心して生活していけるための支援を心がけ、職員間で情報の共有を徹底していくことが大切である。</p>	

第3章 今後に向けた課題

1. 本年度調査の特徴

本年度調査の特徴として、指定管理が特定の団体に集中していたことと、ほとんどの施設において指定管理者第三者評価が2巡目であったことが挙げられる。それぞれの観点から今後の課題について検討してみたい。

(1) 寡占によるスケールメリットと競争力

本調査では、市内の地区活動センター、老人福祉センター、世代交流センター、児童センター及び児童館、ならびに運動広場と知的障害児・者施設の計54施設が評価の対象となった。そのうち、48施設を社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団（以下、「事業団」という。）が、6施設を社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会（以下、「協議会」という。）が指定管理している。とりわけ、事業団のシェアは評価対象施設の88%を超えており、スケールメリットを生かした運営の可能性を示す一方、施設間競争力の低下も懸念される。

スケールメリットを生かせれば、指定管理者の専門的知見を生かした安定的な管理運営とサービスの平準化が可能となり、市民にとって同一カテゴリーの施設であれば市内どこでも同じサービスを受けられるメリットがある。また、同じ団体が複数の施設を指定管理することで、団体本部による事務処理の集中管理等、管理運営に係る作業の効率化が図られ、設置者側には指定管理コストが縮減できるというメリットも生まれよう。

一方、スケールメリットを追求した管理運営には、各施設の立地環境や地域性を生かした個性的で柔軟な運営を阻害する要因も内包している。とくに、厳しい財政状況が続く中で指定管理料の抑制が求められれば、指定管理者にもより効率的な運営が期待され、管理運営方法やサービスの統一化・平準化によって運営の柔軟性を損なってしまい、特色ある施設の運営による施設間競争力の維持・向上を果たせなくなってしまうことも考えられるからである。

この点について、今回評価した施設では、地域住民と連携するなどして、世代間交流や地域資源の活用を目的に多種多様な自主事業がなされていることが確認されており、指定管理者の努力の様子がうかがえた。今後は、各施設の特色を最大限に引き出し、各地域の拠点施設としてどう生かしていくか、さらなる創意と工夫を期待したい。

(2) 管理運営の継続とアクターの育成機能

盛岡市における指定管理者の第三者評価は、平成19年度から始まり、本調査の対象となった施設の評価は、ほとんどが平成20年度に続き2巡目となった。評価の手法は、前回とほぼ同じスキームながら、指定管理者の創意工夫をより評価できるようブラッシュアップした基準で評価している。したがって、前回の評価結果と今回の評価結果を単純比較はできないものの、両評価結果を俯瞰してみると、総じて今回の評価では前回評価よりも管理運営に係る質的向上の跡がうかがえた。

これは、評価対象施設の指定管理者が前回と同一で、管理運営業務の継続による学習機能が発揮されたことによるものと推測できる。管理運営業務の継続性は、指定管理者にとっても人材の確保や雇用の維持等重要なファクターとなっているが、施設を利用する市民にとってもサービスの質と量の享受の面からメリットが少なくない。

一方、指定管理者制度導入の際の効用の一つと期待された地方自治への市民参加の観点からみると、もう一工期待したいところでもある。すなわち、企業や市民団体を含めた公共サービスへの市民参画、住民

自治の実現に向けた市民意識の醸成と主体性の養成、公共サービスの担い手となるアクターの育成という観点から、指定管理者の多様性をはぐくむことも必要と思われる。

もちろん、事業団と協議会が指定管理している現状に問題があるというわけではない。地域住民との連携のあり方や自主事業の組み立て方により、現在よりも地域住民の関わりを高めることも可能であろう。これからの時代に重要な観点は、「そつのない」管理運営から、市民と施設のパフォーマンスを最大限に引き出す仕組みづくりである。設置者、指定管理者双方に、さらなる工夫を期待したい。

2. 人口減少時代の新たな観点

今後の指定管理のあり方に関し、重要な観点が人口減少と地方創生であろう。国は、日本の将来の人口目標を1億人の維持とし、地方都市の消滅を防ぐため、東京一極集中の是正と地方創生を推進する、としている。

その前提として見逃せないのが、人口目標が現在の人口より少ない設定になっていることと、地方創生という名目で市町村間の競争を促していることである。すなわち、人口が現在より少なくなった時代をイメージし、その中でどう住民サービスを維持し、地域間競争に勝ち抜いていくか、深い議論が求められている。

(1) 地域間競争の活動拠点

地方創生が国の重要施策に掲げられ、自治体の首長の間では「市町村の本当の競争」という受け止め方が広がっている。かつての全総やふるさと創生のように、全国均一の住民サービスを前提とした競争ではなく、住民サービスの違いによって都市の魅力を競い合う時代へと変化している。そこには、従来のサービスに「加える」だけでなく、従来のサービスを「削る」ことで特色を打ち出すことも含まれている。

こうした競争の射程は、市町村間にとどまらず、市町村内の地域間にも及ぶ。どの地域に都市機能を集約させ、まちを維持していくのか、住民自身が選択できる環境を整えていかなければならない。

その際、本調査の対象となった施設のうち、地区活動センターや老人福祉センター、世代交流センターなどは、それぞれの地域における活動拠点として、大きな役割を果たすことになるだろう。従来の各施設のカテゴリーを超えて、地域づくりの中心的機能を担うことになるのではないか。

(2) 少子高齢対策の活動拠点

人口減少とも関連するが、これからの時代の大きな政策課題として少子高齢社会がある。少子化対策と子育て支援は、人口減少対策に直接影響を及ぼすテーマであり、高齢者の健康と生きがいづくりは、人口減少時代における人材活用と行政コストの縮減に直接影響を及ぼすテーマである。

今後各地域において、それらの活動拠点となるのが、本調査の対象となった施設のうち、老人福祉センターや世代交流センター、児童センター・児童館などであろう。

その時、設置者の仕様に沿っただけの施設管理や、住民の要望に応えるだけの施設運営では、その機能を十分発揮できない恐れがある。人口減少時代における各施設の位置づけを想定するならば、指定管理のあり方も従来とは異なり、よりフレキシブルで個性の際立った施設運営を実現できる工夫が求められてくるのではないか。

資料編

【文書1】 担当課向け文書案

【文書2】 指定管理者向け文書案

【文書3】 訪問先への文書案

【別紙1】 指定管理者自己点検等に関する調査票

【別紙2】 担当課評価シート

【別紙3】 施設別評価シート

【文書1】担当課向け文書案

平成26年11月*日

担当課各位

(評価業務受託者)
特定非営利活動法人 政策21
株式会社 邑計画事務所共同体

(印省略)

指定管理者制度導入施設の管理運営に係る第三者評価 対象施設に係る資料ご提供のお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当共同体は、本年度の「指定管理者制度導入施設の管理運営に係る第三者評価業務」を受託いたしました。つきましては、「指定管理者関連書類調査」として、各対象施設に係る下記の資料について、ご提供いただきたく、お願い申し上げます。

また、各担当課にてご記入いただく「担当課評価シート」を準備いたしましたので、あわせて、ご記入・ご提出いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、後日、「担当課評価シート」に基づき、施設の特性や運営状況、課題等について、お話を伺いこお邪魔させて頂くことを予定しておりますので、宜しく願いいたします。

— 記 —

1. ご提供いただきたい書類（複数年度分）
 - (1) 事業計画書
 - (2) 自主事業計画書（自主事業を実施している場合のみ）
 - (3) 収支予算書
 - (4) 協定書
 - (5) 事業報告書
 - (6) 収支決算書
 - (7) 自己評価表
 - (8) 設置者評価表
 - (9) 担当課評価シート（本書添付）

2. 各資料及び事前評価シートの受取り
市長公室行政経営課

3. 期限
平成26年11月*日（*）を目処にお願いいたします。

お問い合わせ先 (株)邑計画事務所・□□、□□ 電話：653-1058、FAX：653-1056

【文書2】指定管理者向け文書案

平成26年11月*日

指定管理者各位

(評価業務受託者)

特定非営利活動法人 政策21

株式会社 邑計画事務所共同体

(印省略)

指定管理者制度導入施設の管理運営に係る第三者評価
調査へのご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当共同体は、本年度の盛岡市「指定管理者制度導入施設の管理運営に係る第三者評価業務」を受託いたしました。また、本年度の評価対象として、盛岡市より貴事業所が選定されております。

つきましては、後日、当共同体の調査員が貴事業所を訪問して、ヒアリングを実施することを予定しております。それに先だって、お手数をおかけして大変恐縮ですが、『指定管理者自己点検等に関する調査票』にご記入いただき、平成26年11月*日(*)を目処に、担当課に提出下さりますよう、宜しくお願い致します。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人政策21株式会社邑計画事務所共同体

電話：019-653-1058/邑計画事務所・□□、□□

【文書3】訪問先への文書案

平成26年11月*日

□□□□□□□□□□

長 様

(第三者評価業務受託者)
特定非営利活動法人 政策21
株式会社 邑計画事務所共同体

(印省略)

指定管理者制度導入施設を対象とした第三者評価ヒアリング調査へのご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の「指定管理者制度導入施設の管理運営に係る第三者評価業務」にあたり、「第三者ヒアリング調査」として、下記の期間、各施設訪問による調査を予定しております。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、ご対応いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、本件に関するご質問等は、下記お問い合わせ先までお願いいたします。

—記—

1. 実施時期

平成26年11月**日(*)～12月**日(*)

期間中に一施設あたり2時間程度の日程で実施

2. 場所

各施設事業本部事務所及び事業所事務所など

3. 訪問する調査員

共同体調査チーム各2名

4. ご準備いただきたい資料等 (以下について該当するものがあれば用意願います)

事業計画書及び事業報告書(できれば過去3年間)、仕様書、自主事業計画書及び報告書、研修に関する記録、防災対策の標準書(手引き等)、事故に関する記録、補修・修繕が確認できる記録、苦情に関する記録、利用受付の手順等に関する書類、利用記録簿、利用案内等のパンフレット、利用者の苦情等に対応するルール関連書類、利用者会議の記録、評価改善が確認できる記録、個人情報取扱いルール、利用者満足の把握に関する取り組みの記録

お問い合わせ先 (株)邑計画事務所/□□・□□・□□

電話：653-1058、FAX：653-1056

【別紙1】指定管理者自己点検等に関する調査票

指定管理者自己点検等に関する調査票

施設名			
指定管理者名			
記入者名		連絡先	

■自己点検の実施状況

番号	質問事項
1	自己点検に関する考え方や方針について、ご記入下さい。
2	自己点検の実施状況（時期、方法、実施項目など）について、ご記入下さい。
3	自己点検の結果及び活用状況について、その概要をご記入下さい。

■利用者満足度の把握状況

4	利用者満足度の把握に関する考え方や方針について、ご記入下さい。
5	利用者満足度の把握結果について、その概要をご記入下さい。

※関連資料がある場合には、ご提供願います。

【別紙2】担当課評価シート

担当課評価シート

施設名					
担当課名					
記入者		連絡先			
評価の視点	第三者評価			コメント	
	設問	個別評価 (該当に○)			
		はい	いいえ		どちらとも いえない
1 管理体制	① 業務執行に関して、指導・指示をしたことがありますか。ある場合、それはどのような内容で、指定管理者はどのように対処しましたか。				
	② 定期報告書は、期日までに提出されていますか。またその内容は必要事項が適切に記載されていましたか。				
2 施設・設備の維持管理状況	③ 施設設備の維持・管理に関して、利用者や近隣住民から苦情はありましたか。ある場合、それはどのような内容で、市と指定管理者は、それに対してどのように対処しましたか。				
	④ 施設設備の維持・管理に関して、指導・指示をしたことがありますか。ある場合、それはどのような内容で、指定管理者はどのように対処しましたか。				
3 施設の経営状況	⑤ 指定管理者制度導入前と比較して、経費節減効果がありましたか。ない場合、その理由はやむをえないものといえますか。				
4 サービスの向上	⑥ サービスや接遇に関して市民・利用者から苦情はありましたか。ある場合、それはどのような内容で、市と指定管理者はどのように対処しましたか。				

	⑦ 指定管理者制度導入前と比較して、サービスが向上したと考えますか。				
5 個人情報 適正管理	⑧ 個人情報の取り扱いについて、市民・利用者から苦情や指摘を受けたことがありますか。ある場合、それはどのような内容で、市と指定管理者はそれにどのように対処しましたか。				
6 協働の視 点	⑨ 協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行われましたか。				
	⑩ 指定管理者との協働により事業を実施したり、課題を解決したりしたことがありますか。				
7 その他	⑪ 協定書に基づき、定期的な施設の巡回点検は行いましたか。				
	⑫ 設置者評価を実施しましたか。				
	⑬ 指定管理者における指定管理施設以外を含めた経営全体の状況については、良好なものとなっていますか。				

この施設の課題・問題点は何かと考えますか。	
この施設の特性に応じて評価すべき項目はどんなことと考えますか。	

【別紙3】施設別評価シート

施設別評価シート

施設名 指定管理者	
所在地	盛岡市
電話番号	019-
ホームページ	http://www.
施設の概要	
●管理運営の面で優れている点 (S及びAA評価の点)	
●今後に向けてより充実が期待される点 (個別項目について)	
●利用者意向の把握と運営への反映状況 (調査結果の概要)	
●その他、特記事項 (調査員のコメント要旨など) (施設特性および指定管理者の運営の特徴など)	